

第五章 府縣ノ財務

第一款 財産營造物及府縣稅

第九十八條 府縣ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第九十九條 府縣ハ營造物若ハ公共ノ用ニ供シタル財産ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百條 使用料及手數料ニ關スル事項ニ付テハ府縣條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第一百條ノ二 府縣ハ神社ノ經費ヲ供進スルコトヲ得
(昭一八、本條追加)

第一百一條 府縣ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 府縣ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令又ハ從來ノ慣例ニ依リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

2 府縣ヲシテ國ノ事務ヲ處理セシムル場合ニ於テハ之ガ爲要スル費用ノ財源ニ付必要ナル措置ヲ講ズベキ

モノトス(昭一八、本項追加)

第一百三條 府縣ハ地方稅法ノ定ムル所ニ依リ府縣稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第一百四條乃至百十條 削除

第一百一條 府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ水利ニ關スル事業其ノ他土地ノ利益ト爲ルベキ事件ニ依リ特ニ利益ヲ受クル者ヨリ分擔金ヲ徵收スルコトヲ得

第一百二條 府縣ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ府縣内一部ノ市町村其ノ他公共團體若ハ一部ノ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

2 夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ

3 夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第十三條 削除

第一百四條 詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料、

手數料又ハ分擔金ノ徵收ヲ免レタル者ニ付テハ府縣條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レタル金額ノ五倍ニ相當スル金額(其ノ金額十圓未満ナルトキハ十圓)以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

2 前項ニ定ムルモノヲ除ク外使用料、手數料及分擔金ノ徵收ニ關シテハ府縣條例ヲ以テ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財產又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

3 過料ヲ科シ及之ヲ徵收スルハ府縣知事之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一百五條 使用料、手數料若ハ分擔金ノ徵收又ハ夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ徵收又ハ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テ府縣知事ノ決定ヲ受ケタル者其ノ

決定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(昭一八、本項改三項削ル)

第十六條 使用料、手數料、分擔金、夫役又ハ現品ニ代フル金錢、過料其ノ他、府縣ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

2 急迫ノ場合ニ於テ夫役又ハ現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ履行ヲ爲ササルトキハ更ニ之ヲ金額ニ換算シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

3 前二項ノ場合ニ於テハ府縣條例ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

4 第一項ノ規定ニ依ル督促又ハ第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限マテニ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スヘシ

5 第一項乃至第三項ノ徵收金ハ國ノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

6 府縣知事ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員カ爲シタル前三

項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(昭一八、本項一部改)

7 第四項ノ規定ニ依ル處分ニ係ル差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

8 第四項ノ處分ハ其ノ府縣ノ區域外ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第十七條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スル爲メ又ハ天災事變等ノ爲メ必要アル場合ニ限り府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

2 府縣債ヲ起スニ付府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

3 府縣ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス府縣參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二款 歳入出豫算及決算

第十八條 府縣知事ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始前府縣會ノ議決ヲ經ヘシ

2 府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

3 豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ財産表ヲ提出スヘシ

第十九條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第二十條 府縣費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第二十一條 豫算外ノ支出若ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ但シ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

2 特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

第二十二條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二十三條 府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第二十三條ノ二 府縣ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第二十四條 決算ハ翌翌年ノ通常會ニ於テ之ヲ府縣會ニ報告スヘシ

2 決算ハ之ヲ內務大臣ニ報告シ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二十五條 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ關スル必要ナル規定ハ內務大臣之ヲ定ム

第二十六條 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章ノ二 府縣組合

第二十六條ノ二 府縣ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ規約ヲ定メ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣組合ヲ設クルコトヲ得

2 府縣組合ハ法人トス

府縣制 第五章ノ二 府縣組合

第二十六條ノ三 府縣組合ノ規約ニハ其ノ名稱組合ヲ組織スル府縣組合ノ共同事務組合ノ組織事務ノ管理費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

2 府縣組合ノ事務ハ內務大臣ノ指定シタル府縣知事之ヲ管理ス

第二十六條ノ四 府縣組合ノ組合府縣費ヲ増減シ共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セムトスルトキ又ハ府縣組合ヲ解カムトスルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ財產處分ヲ要スルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ之ヲ定ム

第二十六條ノ五 前三條ノ場合ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二十六條ノ六 公益上必要アル場合ニ於テハ內務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十六條ノ七 府縣組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外府縣ニ關スル規定ヲ準用ス但シ府縣組合ニハ參事會ヲ置カス其ノ權限ニ屬スヘキ事項ハ組合事務ヲ管理スル府縣知事之ヲ行フ

第六章 府縣行政ノ監督

第二百二十七條 府縣ノ行政ハ內務大臣之ヲ監督ス

第二百二十八條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

2 行政訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ第八十二條第四項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタル場合ニ於テハ告示ノ日ヲ以テ處分ヲ受ケタル日ト看做ス

3 決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

4 異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

5 異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

6 異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

7 異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百二十八條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除ク外其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

2 府縣知事訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ裁決スヘシ(昭一八、本條一部改)

第二百二十九條 內務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ又ハ公益ヲ害セサルヤ否ヲ監視スヘシ內務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ書類

帳簿ヲ徴シ竝實地ニ就キ事務ヲ觀察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

2 內務大臣ハ府縣行政ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第三百三十條 削除

第三百三十一條 內務大臣ハ府縣會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

2 府縣會解散ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

3 解散後始メテ府縣會ヲ招集スルトキハ府縣知事ハ第五十條第二項ノ規定ニ拘ラス別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

4 第五十條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ府縣會ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條 府縣吏員ノ服務規律ハ內務大臣之ヲ定ム

第三百三十三條 本法ニ規定スルモノノ外有給吏員ノ組織、任用、分限、給料等ニ關シ必要ナル事項ハ命令

ヲ以テ之ヲ定ム(昭一八、本條改)

第三百三十四條 府縣債ヲ起シ又ハ起債ノ方法利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第三百三十五條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項ニ付テハ主務大臣ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第三百三十六條 府縣ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其ノ輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ許可ヲ經スシテ處分スルコトヲ得

第七章 附則

第三百三十七條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ【時期】ハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第三百三十八條 島嶼ニ關スル府縣ノ行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

2 町村制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

3 沖繩縣ニ於テハ第十三條中二十日トアルハ三十日、七日トアルハ十日、第十五條中五日トアルハ十日、第三十一條中十日トアルハ二十日、二十日トアルハ三十日、第三十四條及第五十一條中十四日トアルハ二十五日トス

第三百三十九條 町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ、町村吏員ニ關スル規定ハ町村吏員ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

第三百三十九條ノ二 第四十九條及第七十六條ノ規定ニ依ル府縣知事ノ職權ハ東京府ニ在リテハ警視總監亦

之ヲ行フ

第四百十條 削除

第四百十一條 削除

第四百十二條 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

第四百十三條 第四條第二項但書ノ市ニ於テハ第二章第一款中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス但シ第三十條第二項中市長ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ニ限り區長ニ之ヲ適用ス(昭一八、但書追加)

第四百十四條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合吏員ハ之ヲ町村吏員、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第四百十五條 削除(昭一八、削除)

第四百十六條 明治十三年第十五號布告府縣會議規則明

治十四年第八號布告區郡部會規則明治二十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル法規ハ此ノ法律施行ノ府縣ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第四百十七條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (大正十一年法律第五十五號)

1 本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十一年勅令第二百五十五號ヲ以テ選舉ニ關スル規定以外ノ規定ハ大正十一年五月十五日ヨリ施行)

2 大正十年法律第五十八號又ハ法律第五十九號中公民權ニ關スル規定ハ之ヲ施行セザル市町村ニ於テハ府縣制中町村公民ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス

3 本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第九條乃至第十二條ニ規定スル期日又ハ期

間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

附則 (昭和十年法律第四十四號)

1 本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十年勅令第七十三號ヲ以テ議員選舉ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十年七月十五日ヨリ施行)

2 本法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ昭和十年市制中改正法律又ハ同年町村制中改正法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ施行セザル市町村ニ於テハ府縣制中選舉人名簿ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス

3 昭和十年市制中改正法律又ハ同年町村制中改正法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ又ヲ施行シタル市町村ニ於テハ府縣制中選舉人名簿ニ關スル規定ノ適用ニ付次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間未ダ之ヲ施行セ

ザルモノト看做ス

4 昭和十年町村制中改正法律中選舉人名簿ニ關スル規定ハ第九條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ本法ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

5 前三項ノ場合ニ於テ議員ノ選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

6 昭和九年法律第四十九號ハ本法ノ適用ニ付テハ本法ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和十五年法律第六十二號)

1 本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十四年度分以前ノ府縣稅、夫役現品及府縣費ノ分賦並ニ昭和十五年三月三十一日以前ニ徵收ノ告知アリタル使用料及手數料ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル此ノ場合ニ於テ地方稅法ニ別段ノ規定アルモノニ付テハ其ノ規定ニ依ル

2 從來市部會及郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テ本法施行

ノ際現ニ名譽職參事會員及其ノ補充員タル者ハ最近ノ改選期ニ於テ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス但シ本法施行ノ際ニ於テ各十人ノ定員ヲ超ユル員數ニ付テハ府縣知事抽籤シテ解任スベキ者ヲ定ム

3 前項ノ場合ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員ノ補闕順位ハ府縣知事抽籤シテ之ヲ定ム

4 從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於ケル昭和十四年度分以前ノ財務ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル但シ市部會及郡部會又ハ市部參事會及郡部參事會ノ權限ニ屬スル事項ハ府縣會又ハ府縣參事會之ヲ行フ

5 從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ノ財產處分ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

6 從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於ケル府縣稅ノ賦課其ノ他ノ財務ニ關シテハ當分ノ內勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則 (昭和十八年法律第七十九號)

1 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

2 本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●昭和十八年法律第七十九號府縣制中改正法律及同年法律第八十二號北海道會法中改正法律ノ施行期日ノ件 (昭和十八年五月二十五日勅令第四百三十八號)

昭和十八年法律第七十九號中府縣制第四條第二項、第五條、第二十三條、第三十條第二項及第四百四十五條ノ改正規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ部分ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年法律第八十二號ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●府縣制施行令 (大正十五年六月二十四日勅令 第二百號)

改正 (昭和二年第三六號、四年第一八〇號、八年第二八五號、一〇年第一七四號、一五年第二三三號、昭和一八年第四三九號)

第一章 府縣會議員ノ選舉

第一條 府縣制第四條第二項ノ區域ノ人口ガ當該府縣ニ於ケル議員ノ定數ヲ以テ當該府縣ノ人口ヲ除シテ得タル數ノ半數ニ滿タザル場合ニ限り同條第三項ノ規定ニ依リ其ノ區域ト隣接ノ區域トヲ合セテ一選舉區ヲ設クルコトヲ得

2 府縣制第四條第三項ノ規定ニ依ル選舉區ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非ザレバ之ヲ設クルコトヲ得ズ

3 府縣制第四條第三項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ設ケントスルトキハ內務大臣ノ許可ヲ受クベシ

4 前二項ノ規定ハ府縣制第四條第三項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ廢止シ又ハ其ノ區域ヲ變更スル場合ニ之ヲ準

用ス

5 府縣制第四條第三項及第四項ノ場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉長ハ關係アル市長（同條第二項但書ノ市ニ於テハ區長）、地方事務所長又ハ支廳長ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ指定ス（昭一八、本項改）

第一條ノ二 府縣制第六條第二項ノ規定ニ依リ除外スベキ學生生徒左ノ如シ

- 一 陸軍各部依託學生生徒
- 二 海軍委託學生生徒並ニ豫備學生、豫備生徒及豫備練習生（昭一八、本號改）

第一條ノ三 町村制第三十八條ノ町村ニ於テハ府縣會議員ノ選舉ハ其ノ町村ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿中其ノ名簿調製期日ニ於テ府縣會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ關スル部分（以下衆議院議員選舉人名簿中關係部分ト稱ス）及補充選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ

2 町村制第十七條ノ二第二項、第十八條ノ三並ニ第十

八條ノ四第三項及第四項ノ規定中衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ關スル部分ハ前項ノ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ、同法第十七條ノ二第二項、第十八條乃至第十八條ノ三及第十八條ノ四第一項乃至第四項ノ規定中補充選舉人名簿ニ關スル部分ハ前項ノ補充選舉人名簿ニ之ヲ準用ス

3 天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

4 市制町村制施行令第七條乃至第七條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ市町村（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區）ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタルトキハ府縣知事ハ直ニ其ノ區劃ヲ告示スベシ（昭一八、一部改）

第三條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ市町村（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區）ノ區域ヲ

分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一 投票管理者ハ投票區ノ一ニ於テハ市町村長（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區長）トシ其ノ他ノ投票區ニ於テハ市町村長（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區長）ノ指定シタル市町村吏員（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區長）ヲ以テ之ニ充ツ

二 市町村長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ其ノ指定シタル市町村吏員（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ市制第八十六條ノ吏員）投票管理者タル投票區（投票區ノ區域ト同一ノ區域ニ依リ分綴セラレタル選舉人名簿アル投票區ヲ除ク）毎ニ選舉人名簿ニ依リ名簿ノ抄本ヲ調製スベシ

三 市町村長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ選舉期日ノ告示アリタルトキハ直ニ選舉人名簿ノ抄本（投票區ノ區域ト同一ノ區域ニ依リ分綴セラレ

タル選舉人名簿アル投票區ニ付テハ選舉人名簿）ヲ關係投票管理者ニ送付スベシ

四 市町村長（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區長）ノ指定シタル市町村吏員（府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ市制第八十六條ノ吏員）投票管理者タル投票區（投票區ノ區域ト同一ノ區域ニ依リ分綴セラレタル選舉人名簿アル投票區ヲ除ク）ニ於テハ府縣制第十八條第三項及第二十一條並ニ本令第八條及第十六條ノ五第一項中選舉人名簿トアルハ選舉人名簿ノ抄本トス

五 選舉人名簿ノ抄本ハ市町村長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ（昭一八、一部改）

第四條 府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一 投票管理者ハ府縣知事ニ於テ關係町村長ノ中ニ

就キ之ヲ指定ス

- 一 町村長ハ選舉ノ期日ノ告示アリタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ投票管理ニ送付スベシ
- 二 町村費ヲ以テ支辨スベキ投票所ノ費用ハ之ヲ關係町村ニ平分スベシ

第五條 府縣制第十八條第七項ノ規定ニ依リ盲人ガ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ市制町村制施行令別表ノ定ムル所ニ依ル

2 點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル選舉人ハ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツベシ、此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スベシ

3 點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ府縣制第十九條ノ例ニ依ル、此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スベシ

4 前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ府縣制第二十五條第二項及第三項ノ規定ノ適用ニ付テハ同法

第十九條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第五條ノ二 選舉長タル地方事務所長故障アルトキハ府縣知事ノ指定シタル官吏選舉長ノ職務ヲ代理ス
(昭一八、本條追加)

第六條 府縣制第二十三條ノ二ノ規定ニ依リ開票區ヲ設ケタルトキハ府縣知事ハ直ニ其ノ區劃ヲ告示スベシ

第七條 開票管理者ハ府縣知事ノ指定シタル官吏又ハ吏員ヲ以テ之ニ充ツ

2 開票管理者ハ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

3 開票所ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ

4 開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第八條 開票區ノ區劃内ノ投票管理者ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票錄及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スベシ

第九條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ

其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スベシ

第十條 開票管理者ハ開票錄ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ二人以上ノ開票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票錄及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スベシ
(昭一八、一部改)

第十一條 開票管理者ハ第九條ノ報告ヲ爲シタルトキハ直ニ選舉人名簿(選舉人名簿ノ抄本アルトキハ併セテ其ノ抄本)ヲ關係市町村長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ返付スベシ(昭一八、一部改)

第十二條 選舉長ハ總テノ開票管理者ヨリ第九條ノ報告ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日(又ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日)選舉會ニ於テ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査シ府縣制第二十五條第三項ノ規定ニ依リ爲シタル點檢ノ結果ト併セテ各議員候補者ノ得票總數ヲ計算スベシ

第十三條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準ジ其ノ部分ニ

付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各議員候補者ノ得票數ト併セテ其ノ得票總數ヲ計算スベシ

第十四條 開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ府縣制第三十一條第一項ノ報告ニ開票錄ノ寫ヲ添附スベシ

第十四條ノ二 府縣制第二十五條第三項又ハ之ヲ準用スル本令第十六條ノ規定ニ依リ投票點檢ノ區域ヲ定メタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第十五條 第一條第五項、第四條第一號、第五條ノ二又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ選舉長、投票管理者、選舉長代理者又ハ開票管理者ヲ指定シタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

2 前項ノ規定ハ第三條第一號ノ規定ニ依リ市町村長(府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ區長)ニ於テ投票管理者ヲ指定シタル場合ニ之ヲ準用ス(昭一八、一部改)

第十六條 府縣制第十六條ノ規定ハ開票立會人ニ、同

法第十七條第一項及第二項ノ規定ハ開票所ニ、同法第二十二條、第二十五條、第二十六條及第二十八條ノ規定ハ開票所ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

第一章ノ二 府縣制第十九條ノ二ノ投票

第十六條ノ二 府縣制第十九條ノ二ノ事由ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 湖川、港灣ノミヲ航行スル船舶、總噸數二十噸未滿ノ船舶及端舟其ノ他櫓權ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟ヲ除クノ外日本船舶(内地以外ニ船籍港ヲ定ムルモノヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ船員又ハ其ノ船舶ニ乗務スルノ常況ニ在ル者船内從業中ナルベキコト
- 二 前號ノ船舶ヲ除クノ外日本船舶ニシテ總噸數五噸以上ノモノノ船員又ハ其ノ船舶ニ乗務スルノ常況ニ在ル者船内從業中ナルベキコト
- 三 鐵道列車ニ乗務スルノ常況ニ在ル鐵道係員、郵便取扱員其ノ他ノ者鐵道列車ニ乗務中ナルベキコト

ト

四 選舉事務、投票所監視、選舉取締其ノ他選舉ニ關係アル職務ニ從事スル者其ノ投票區域外ニ於テ職務ニ從事中ナルベキコト

五 陸海軍軍人演習召集中又ハ教育召集中ナルベキコト

六 艦船乘員タル軍屬海上勤務中ナルベキコト

七 引續キ十日以上其ノ屬スル投票區所在ノ市ノ區域又ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事スルヲ例トスル者其ノ屬スル投票區所在ノ市ノ區域又ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事中ナルベキコト(昭和一八、本號改)

第十六條ノ三 選舉人前條ニ掲グル事由ニ因リ選舉ノ當日投票時間内ニ自ら投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザルベキトキハ各左ニ掲グル期間内ニ自ら其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ其ノ旨ヲ證シテ投票用

紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

- 一 前條第一號又ハ第五號乃至第七號ニ掲グル事由ニ關スルトキハ選舉ノ期日ノ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日ノ前日迄
- 二 前條第二號乃至第四號ニ掲グル事由ニ關スルトキハ選舉ノ期日前十日ヨリ選舉ノ期日ノ前日迄

2 點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル選舉人ハ前項ノ請求ヲ爲スト同時ニ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツベシ

第十六條ノ四 選舉人前條ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ其ノ證スル事項ニ付各左ニ掲グル者ノ證明書ヲ提出スベシ但シ第十六條ノ二第五號ニ掲グル事由ニ基ク事項ニ付テハ選舉ノ期日ガ召集期間中ナル場合ニ限り召集令狀ノ提示ヲ以テ證明書ノ提出ニ代フルコトヲ得

- 一 第十六條ノ二第一號ニ掲グル事由ニ關シテハ船員ニ在リテハ管海官廳(管海官廳ニ準ズベキモノ

ヲ含ム)又ハ船長(船長ノ職務ヲ行フ者ヲ含ム以下之ニ同ジ)、其ノ他ノ者ニ在リテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ業務主

二 第十六條ノ二第二號ニ掲グル事由ニ關シテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ者ノ業務主

三 第十六條ノ二第三號ニ掲グル事由ニ關シテハ鐵道係員ニ在リテハ各所屬ノ車掌所主任機關庫主任電車庫主任(地方鐵道ニ在リテハ各之ニ該當スル者)、郵便取扱員ニ在リテハ各所屬ノ郵便局長、其ノ他ノ者ニ在リテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ業務主

四 第十六條ノ二第四號ニ掲グル事由ニ關シテハ各所屬ノ官公署ノ長

五 第十六條ノ二第五號ニ掲グル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ部隊若ハ陸上海軍各部(陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル)ノ長又ハ所屬ノ艦船ノ長

六 第十六條ノ二第六號ニ掲グル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ艦船ノ長

七 第十六條ノ二第一項第七號ニ掲グル事由ニ關シテハ各所屬ノ官公署若ハ議會ノ長又ハ其ノ者ノ業務主

2 前項ノ規定ニ依ル證明者前項ノ證明書ノ交付ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該當事項アリト認ムルトキハ直ニ證明書ヲ交付スベシ

3 選舉人正當ノ事由ニ因リ第一項ノ證明書ヲ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ投票管理者ニ疏明スベシ

第十六條ノ五 投票管理者第十六條ノ三及前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ直ニ其ノ選舉ニ用フベキ選舉人名簿ニ對照シ當該選舉人ガ第十六條ノ二ニ掲グル事由ノ一ニ因リ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハズト認ムルトキ

ハ投票用紙及投票用封筒ヲ直ニ選舉人ニ交付スベシ
2 前項ノ場合ニ於テ第十六條ノ三第二項ノ申立ヲ爲シタル選舉人ニ交付スル投票用紙ニハ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺スベシ

第十六條ノ六 選舉人前條ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ當該投票管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ自ラ投票用紙ニ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ投票用封筒ノ表面ニ其ノ氏名ヲ記載シ直ニ之ヲ投票管理者ニ提出スベシ

2 前項ノ場合ニ於テ投票管理者ハ關係市町村吏員ヲシテ之ニ立會ハシムベシ

第十六條ノ七 投票管理者前條第一項ノ規定ニ依ル投票ヲ受領シタルトキハ投票用封筒ノ裏面ニ投票ノ年月日及場所ヲ記載シ前條第二項ノ規定ニ依ル立會人ト共ニ之ニ署名シ其ノ儘投票ヲ保管スベシ

2 前條第一項ノ規定ニ依ル投票ヲ受領シタル後投票區

ニ異動アリタルニ因リ他ノ投票區ニ屬スルニ至リタル選舉人ノ投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ新ニ選舉人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ送致スベシ
3 投票管理者投票時間終了迄ニ前項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ送致ニ用ヒラレタル封筒ヲ開披シ投票ハ其ノ儘之ヲ保管スベシ

第十六條ノ八 投票管理者ハ第十六條ノ三乃至前條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル顛末書ヲ作成シ之ニ署名シ投票録ニ添附スベシ

2 選舉長ハ府縣制第三十一條第一項ノ報告ニ前項ノ顛末書ノ寫ヲ添附スベシ

第十六條ノ九 投票管理者ハ選舉ノ當日投票函閉鎖前投票立會人ノ意見ヲ聽キ第十六條ノ七第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ保管スル投票ノ受理如何ヲ決定スベシ

2 前項ノ決定アリタルトキハ投票管理者ハ直ニ投票用封筒ヲ開披シ其ノ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シタル

投票用紙ヲ用ヒタル投票ニ付府縣制第十九條ノ例ニ依リ其ノ拒否ヲ決定スベシ

3 第一項ノ規定ニ依リ受理スベシト決定セラレ且前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ヲ受ケザル投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ投函シ第一項ノ規定ニ依リ受理スベカラズト決定セラレタル投票又ハ前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ヲ受ケタル投票ハ投票管理者ニ於テ更ニ之ヲ其ノ投票用封筒ニ入レ假ニ封緘ヲ施シ其ノ表面ニ第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定アリタル旨ヲ記載シテ之ヲ投函スベシ

4 第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ第二項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定アリタル投票ハ府縣制第二十五條第二項及第三項ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第十九條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第十六條ノ十 投票管理者投票時間終了後第十六條ノ七第二項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ

送致ニ用ヒラレタル封筒ヲ開披シ投票用封筒ノ裏面ニ受領ノ年月日時ヲ記載シ之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第二章 府縣會議員ノ選舉運動及其ノ費用並ニ公立學校等ノ設備ノ使用

公立學校等ノ設備ノ使用

第十七條 選舉委員ハ議員候補者一人ニ付選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一萬以上ナルトキハ十人(其ノ異動アリタル場合ト雖モ通ジテ二十五人)ヲ、一萬未滿ナルトキハ八人(其ノ異動アリタル場合ト雖モ通ジテ二十人)ヲ超ユルコトヲ得ズ

2 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉委員ハ前項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エザル範圍内ニ於テ府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ズ

3 府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日

ノ告示アリタル後直ニ前二項ノ規定ニ依ル選舉委員ノ定數ヲ告示スベシ

第十八條 選舉運動ノ爲使用スル勞務者ハ議員候補者一人一日ニ付選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一萬以上ナルトキハ十五人ヲ、一萬未滿ナルトキハ十人ヲ超ユルコトヲ得ズ

2 前條第二項及第三項ノ規定ハ選舉運動ノ爲使用スル勞務者ニ之ヲ準用ス

第十九條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ三十錢ニ乘ジテ得タル額

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ選舉區ノ配當議員數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ登錄セラレタル

者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ三十錢ニ乘ジテ得タル額

三 府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準ジテ算出シタル額但シ府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

2 府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スベシ

第二十條 衆議院議員選舉法施行令第八章(第五十七條ノ二ノ規定ヲ除ク)、第九章及第十二章(公立學校等ノ設備ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ關スル規定ヲ除ク)ノ規定ハ府縣會議員ノ選舉ニ之ヲ準用ス

第三章 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任

第二十一條 府縣出納吏其ノ管掌ニ屬スル現金、證券

府縣制施行令 第三章 府縣出納吏及府縣吏員ノ身元保證及賠償責任

其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府縣知事ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ但シ避クベカラザル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スベシ

第二十二條 府縣出納吏以外ノ吏員其ノ職務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ府縣知事ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムベシ

第二十三條 前二條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得2 前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ府縣知事ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ決定スベシ3 前項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 府縣制第三十八條及第二百二十八條ノ規定ハ本條ノ規

定ノ適用ニ付之ヲ準用ス(昭一八、本條一部改)

第二十四條 賠償金ノ徵收ニ付テハ府縣制第十六條ノ例ニ依ル

第二十五條 府縣出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ其ノ種類、價格、程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムベシ

第四章 府縣ノ財務

第二十五條ノ二 内閣總理大臣又ハ各省大臣其ノ定ムル所ニ依リ府縣ヲシテ國ノ事務ヲ處理セシメントスルトキハ豫メ内務大臣ニ協議スベシ(昭一八、本條追加)

第二十六條 分擔金ハ府縣制第一百一條ノ事件ニ關シ必要ナル費用ニ充ツル爲之ヲ徵收ス

2 分擔金ノ徵收額(數年ヲ期シテ徵收スルトキハ其ノ總額)ハ當該土地ノ受益ノ限度ヲ超ユルコトヲ得ズ

3 地方税法第十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ課稅ヲ爲シ若ハ府縣ノ一部ニ課稅ヲ爲シ又ハ同法第七十七條ノ

規定ニ依リ水利稅ヲ課スルトキハ同一事件ニ關シ分擔金ヲ徵收スルコトヲ得ズ

4 分擔金ノ徵收ヲ受クル者ノ範圍及其ノ徵收方法ハ府縣ニ於テ之ヲ定ム

第五章 府縣ノ監督

第二十七條 削除(昭一八、削除)

第二十八條 左ニ掲グル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 元本總額五十萬圓ニ達スル迄ノ府縣債ニ關スルコト

二 借入ノ翌年度ニ於テ償還スル府縣債ニ關スルコト但シ借入金ヲ以テ償還スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

三 小學校恩給基金又ハ罹災救助基金ヨリノ借入ニ係ル府縣債ニ關スルコト

四 自作農創設維持資金ニ充ツル爲借入ルル府縣債ニ關スルコト(昭和一八、本條追加)

五 府縣債ノ借入額ヲ減少シ又ハ利息ノ定率ヲ低減スルコト

六 府縣債ノ借入先ヲ變更シ又ハ債券發行ノ方法ニ依ル府縣債ヲ其ノ他ノ方法ニ依ル府縣債ニ變更シ若ハ債券發行ノ方法ニ依ラザル府縣債ヲ債券發行ノ方法ニ依ル府縣債ニ變更スルコト

七 府縣債ノ償還年限ヲ短縮シ又ハ其ノ償還年限ヲ延長セズ且利息ノ定率ヲ高メズシテ借替ヲ爲シ若ハ繰上償還ヲ爲スコト但シ外資ニ依リタル府縣債ノ借替又ハ外資ヲ以テスル借替ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

八 府縣債ノ償還年限ヲ延長セズシテ不均等償還ヲ元利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト

第六章 島嶼ニ於ケル府縣ノ行政ニ關スル特例

第二十九條 東京府下伊豆七島中小島及鳥島並ニ小笠原島中北硫黃島、南硫黃島、南鳥島、中ノ鳥島及沖

府縣制施行令 第六章 島嶼ニ於ケル府縣ノ行政ニ關スル特例 第七章 雜則 一九七

ノ鳥島ニ於ケル府會議員ノ選舉ニ關シテハ當分從前ノ例ニ依ル

第七章 雜則

第三十條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合吏員ハ之ヲ町村吏員ト看做ス

附則

1 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

2 左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年勅令第二百二十七號

明治三十二年勅令第二百二十八號

明治三十二年勅令第二百八十五號

明治三十二年勅令第三百十六號

明治三十三年勅令第八十一號

明治三十三年勅令第二百四十八號

府縣會議員選舉區分區令

大正十三年勅令第二百二十七號

3 従前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

4 明治三十三年勅令第二百四十八號第二條ノ規定ニ依ル處分ニ關シ提起シタル訴願ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル

5 明治三十三年勅令第二百四十八號第二條又ハ同年勅令第八十一號第三條ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ處分ニ對スル異議ノ申立期間又ハ訴願ノ提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

6 明治三十三年勅令第八十一號第二條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル申請又ハ同令第三條ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ決定ニ付セラレタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ府縣參事會ノ決定ニ付セラレザルモノ又ハ府縣參事會ノ決定ナキモノニ付テハ第三

十二條第二項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス
7 本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令又ハ市制町村制施行令中公民權及議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同令又ハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和十年勅令第七十四號)

1 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ昭和十年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス
2 昭和九年勅令第三百二十五號ハ本令ノ適用ニ付テハ本令ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和十五年勅令第二百三十三號)

1 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十四年度分以前ノ府縣稅及府縣費ノ分賦ニ關シテハ仍従前ノ規定ニ依ル此ノ場合ニ於テ地方稅法ニ別段ノ規定アルモノニ付テハ其ノ規定ニ依ル
2 從來島嶼ノ經濟ト所屬本地ノ經濟トヲ分別シタル府

縣ニ於ケル昭和十四年度分以前ノ財務ニ關シテハ仍従前ノ例ニ依ル

附則 (昭和十八年勅令第四百三十九號)

1 本令中府縣制施行令第一條、第五條ノ二、第十五條及第十六條ノ二乃至第十六條ノ五ノ改正規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ部分ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎府縣制施行規則 (大正十五年六月二十四日 內務省令第十八號)

改正 (昭和五年第二〇號、六年第二二號、九年第一五號、一〇年第三八號、一五年第一一號、一六年第一一號、一八年第三三號)

第一章 府縣會議員ノ選舉

第一條 府縣制第五條、府縣制施行令第一條及本令第三條ニ規定スル人口ハ内閣ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル
2 前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ府縣、市、區又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域ノ境界ニ涉リテ市區町村ノ廢置分合、境界變更ヲ爲シタルトキ又ハ所屬未定地ヲ市區町村ノ區域ニ編入シタルトキハ府縣、地方事務所長又ハ支廳長ノ管轄區域ノ人口ハ左ノ區別ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依リ市區ノ人口ハ市制町村制施行規則第一條第二項乃至第四項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル但シ市區町村ノ境界變更又ハ所屬未定地編入ノ區域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラズ(昭一八、本項一部改)

一 従前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ニ於テハ市制町村制施行規則第一條ノ規定ニ依ル市區町村ノ人口ヲ集計シタルモノヲ集計シタルモノ

二 府縣ニ在リテハ市制町村制施行規則第一條ノ規定ニ依ル市區町村ノ人口ヲ集計シタルモノ
3 前項ノ規定ハ市區町村ノ境界確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

4 前三項ノ人口中ニハ監獄内ニ在リタル人員ヲ含マズ
第二條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更アリタルトキハ
前條第二項及第四項ノ例ニ依ル

第三條 府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スベ
キ府縣會議員ノ數ハ人口ニ比例シテ之ヲ定ムベシ

第四條 新ニ府縣制第四條第二項ノ區域ノ設定アリタ
ル爲之ニ配當スベキ府縣會議員ハ從前其ノ區域ノ屬
シタル選舉區ヨリ選出シタル議員ノ中ニ就キ府縣知
事抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ其ノ區域ニ住所ヲ有スル
議員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ其ノ區域選出ノ議員
トス若シ其ノ區域ニ住所ヲ有スル議員其ノ區域ノ配
當議員數ヨリ多キトキハ其ノ議員ノ中ニ就キ抽籤ヲ
以テ之ヲ定ム(昭一八、本項一部改二項削ル)

第五條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ハ文書ヲ以テ
之ヲ爲シ議員候補者タルベキ者ノ氏名、職業、住所
及生年月日(推薦届出ノ場合ニ於テハ併セテ推薦届
出者ノ氏名、住所及生年月日)ヲ記載シ且府縣制第

十三條ノ三第一項ノ供託ヲ爲シタルコトヲ證スベキ
書面ヲ添附スベシ

2 議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出ハ文書ヲ以
テ之ヲ爲シ其ノ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル爲選
舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭スル
場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載スベシ

第六條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出アリタルトキ
ハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住所地ノ市町
村長ニ通知シ開票區アル場合ニ於テハ同時ニ議員候
補者ノ氏名、職業、住所、生年月日其ノ他必要ナル
事項ヲ開票管理者ニ通知スベシ

2 前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死
亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ通知スベシ

3 開票區アル場合ニ於テハ選舉長ハ議員候補者ノ議員
候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ其ノ死亡シタル
コトヲ知りタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ開票管理者ニ通
知スベシ

第七條 議員候補者ノ届出若ハ推薦届出又ハ議員候補
者タルコトヲ辭スルコトノ届出ヲ受理シタルトキハ
選舉長ハ直ニ其ノ受理ノ年月日時ヲ届出書ノ餘白ニ
記載スベシ

第八條 議員候補者選舉ノ期日前十一日迄ニ議員候
補者タルコトヲ辭シタルトキ、選舉ノ期日ニ於ケル
投票所ヲ開クベキ時刻迄ニ死亡シタルトキ若ハ被選
舉權ヲ有セザルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ
辭シタルトキ又ハ選舉ノ全部無効ト爲リタルトキハ
直ニ府縣制第十三條ノ三第一項ノ供託物ノ還付ヲ請
求スルコトヲ得

2 議員候補者ノ得票數府縣制第十三條ノ三第二項ノ規
定ニ該當セザルモノナルトキ又ハ議員候補者同法第
二十九條ノ三ノ規定ノ適用ヲ受ケタルモノナルトキ
ハ其ノ選舉及當選ノ效力確定後直ニ同法第十三條ノ
三第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第九條 投票立會人ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ投票

立會人ノ氏名、住所及生年月日ヲ記載シ且本人ノ承
諾書ヲ添附スベシ

第十條 投票管理者必要アリト認ムルトキハ投票所入
場券及到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第十一條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ視ヒ又ハ
投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハザラ
シムル爲相當ノ設備ヲ爲スベシ

第十二條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設ク
ベシ

第十三條 投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票
所ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其
ノ空虚ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖スベシ

第十四條 投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉
人ヲ選舉人名簿(又ハ選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シ
タル後投票用紙(假ニ投票ヲ爲サシムベキ選舉人ニ
對シテハ併セテ封筒)ヲ交付スベシ

第十五條 選舉人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シ

タルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スベシ

第十七條 選舉人投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出ヲ命ゼラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙(交付シタル封筒アルトキハ併セテ封筒)ヲ返付セシムベシ

第十八條 投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スベキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スベシ

第十九條 投票函ハ其ノ閉鎖後選舉長又ハ開票管理者ニ送致ノ爲ノ外之ヲ投票所外ニ搬出スルコトヲ得ズ

第二十條 投票ニ關スル書類(選舉長又ハ開票管理者ニ送致シタルモノヲ除ク)ハ投票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ但シ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ市町村長タル投票管理者ハ其ノ他ノ投票管理者ノ保存スベキ書類ヲ併

セテ保存スベシ

第二十一條 府縣知事府縣制第十三條第二項ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ投票管理者、開票管理者及選舉長ニ通知スベシ

第二十二條 第九條ノ規定ハ開票立會人及選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第二十三條 投票ヲ點檢スルトキハ選舉長ハ選舉會ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムベシ

第二十四條 前條ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ府縣制第二十五條第三項ノ區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ

第二十五條 前二條ノ規定ハ開票區ヲ設ケタル場合ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

2 開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ自ラ開票ヲ行ヒタル部分ニ付各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シタ

ル後開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ

第二十六條 選舉長又ハ開票管理者ハ府縣制第二十五條第三項ノ區域毎ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無効ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ選舉立會人又ハ開票立會人ト共ニ封印ヲ施スベシ

2 受理スベカラズト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セズ前項ノ例ニ依リ封印ヲ施スベシ

第二十七條 開票管理者府縣制第二十五條第四項ノ規定ノ準用ニ依リ開票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ選舉長ニ報告スベシ

第二十八條 點字投票ナル旨ノ印ハ投票用紙及封筒ノ表面ニ之ヲ押捺スベシ

第二十九條 立會人ノ届出書及之ニ添附スベキ承諾書、議員候補者ノ届出書、議員候補者ノ推薦届出書、議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書、府縣制施行令第十六條ノ四第一項ノ規定ニ依ル證明書、投票

錄、府縣制施行令第十六條ノ八第一項ノ願末書、選舉錄及開票錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

2 府縣制施行令第一條ノ三ノ規定ニ依リ調製スル選舉人名簿ハ市制町村制施行規則別記市町村會議員選舉人名簿様式ノ一ニ準ジ、府縣制施行令第三條第二號ノ規定ニ依リ調製スル選舉人名簿ノ抄本ハ市制町村制施行規則別記市町村會議員選舉人名簿抄本様式ノ一及二ニ準ジ之ヲ調製スベシ(昭一八、改)

第二章 府縣ノ財務

第三十條 府縣其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スベシ

第三十一條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スベキ歲出ニ充ツルコトヲ得ズ

第三十二條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル
一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
二 定期ニ賦課スルコトヲ得ザルガ爲特ニ納期ヲ定

メタル收入、又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ令書又ハ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三 隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發セザルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ府縣債、補助金、寄附金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第三十三條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 費用辨償、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スベキ事實ノ生ジタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
- 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ

依り定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三 府縣債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定アルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

四 供進金、補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度

五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

六 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第三十四條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歳入ニ編入スベシ

第三十五條 府縣稅ハ徵稅令書、徵稅傳令書ニ依リ夫役現品ハ賦課令書ニ依リ負擔金、使用料、手数料、分擔金、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收シ其ノ他ノ收入ハ納付書ニ依リ收入スベシ但シ地方稅法第三十五條又ハ第四十二條

ノ規定ニ依リ徵收スル府縣稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役並ニ納額告知書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十六條 支出ハ債主ニ對スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十七條 左ノ經費ニ付テハ府縣ノ官吏吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏吏員ニ前渡スルコトヲ得

- 一 府縣債ノ元利支拂
- 二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費
- 三 遠隔ノ地又ハ交通不便ノ地ニ於テ支拂ヲ爲スル經費

2 特別ノ必要アルトキハ前項ノ資金前渡ハ府縣ノ官吏吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 族費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 前二條ニ掲グルモノノ外必要アルトキハ府縣制施行規則 第二章 府縣ノ財務

府縣參事會ノ議決ヲ經テ資金前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第四十條 前金支拂ニ非ザレバ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 歳入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歳入ヨリ支拂フベシ

2 歳出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、資金前渡、概算拂前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スベシ

第四十二條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歳入歳出ト爲スベシ、前條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第四十三條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ノ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ翌年度四月三十日迄ニ繼續費繰越計算書ヲ調製シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ府縣參事會ニ報告スベシ

第四十四條 歳入歳出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ別チ且各部ヲ款項ニ區分スベシ

第四十五條 歳入歳出豫算ニハ各項ヲ各目ニ區分シ其ノ豫算ノ基ク所ヲ詳記シタル豫算説明ヲ附スベシ

第四十六條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スベシ

第四十七條 府縣歳入歳出豫算ハ別記府縣歳入歳出豫算様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第四十八條 繼續費ノ年期及支出方法ハ別記繼續費ノ年期及支出方法様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第四十九條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

第五十一條 豫算各項ノ金額ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得但シ機密費ハ此ノ限ニ在ラズ

府縣ノ收入支出ニシテ命令ヲ發スルヲ要スルコトヲ得

スルモノハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏員其ノ他ノ職員ニ於テ之ヲ發ス

第五十二條 府縣ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第五十三條 府縣ノ出納ニ關スル事項ハ會計年度經過後三月以内ニ之ヲ完整スベシ

第五十四條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ左ノ事項ノ計算ヲ明記シタル説明ヲ附スベシ

歳入ノ部

歳入豫算額

繼續費繰越財源豫定額

調定済歳入額

收入済歳入額

不納缺損額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

支出済歳出額

翌年度繰越額

不用額

第五十五條 會計年度經過後ニ至リ歳入ヲ以テ歳出ニ充ツルニ足ラザルトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上グ之ニ充用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ充用ニ要スル額ヲ翌年度ノ歳入歳出豫算ニ編入スベシ

第五十六條 府縣出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ府縣知事ニ於テ検査員ヲ命ジ少クトモ毎年度一回之ヲ検査セシムベシ

第五十七條 府縣ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲府縣金庫ヲ置ク

第五十八條 府縣金庫ハ府縣本金庫府縣支金庫トス

第五十九條 府縣本金庫ハ府縣廳所在地ニ之ヲ置キ府縣支金庫ハ

府縣知事ニ於テ必要ト認ムル地ニ之ヲ置ク

第三十條 府縣本金庫ハ府縣支金庫ヲ總轄ス

第五十九條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムベキ銀行ハ府縣知事ニ於テ定ム

第六十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付府縣ニ對シ責任ヲ有ス

第六十一條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル擔保ヲ提出スベシ

第六十二條 府縣知事ハ豫算ニ屬スル現金ヲ支出ニ妨ガナキ限度ニ於テ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ニ運用ヲ許スコトヲ得

第六十三條 前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ府縣ニ納付スベシ

第六十四條 府縣知事ハ府縣金庫ヲ監督シ検査員ヲシ

府縣制施行規則 第二章 府縣ノ財務

テ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査セシメ又必要アリト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第六十四條 本章ニ規定スルモノノ外府縣ノ財務ニ關シ必要ナル規定ハ府縣規則ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 雜則

第六十五條 府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テハ本令第六條第一項、第二項及第二十條中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ之ヲ適用ス
第六十六條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

附則

1 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ施行ス

2 左ノ內務省令ハ之ヲ廢止ス

明治二十四年內務省令第十二號

- 明治三十二年內務省令第六號
 - 明治三十二年內務省令第二十九號
 - 明治三十三年內務省令第七號
 - 大正三年內務省令第九號
 - 大正三年內務省令第十號
 - 大正三年內務省令第十一號
 - 大正十一年內務省令第十五號
- 3 從前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス
- 4 本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際市制町村制施行規則中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

(別記)

附則 (昭和十年內務省令第三十八號)
本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

立會人ノ届出書様式

投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)届

立會人 氏 名

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

生年月日 何年何月何日

選 舉 昭和何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉
右別紙本人ノ承諾書相添届出候也

昭和何年何月何日

議員候補者 氏 名

名印

投票管理者(開票管理者)(選舉長)氏名宛

立會人ノ届出書ニ添附スベキ承諾書様式

投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)承諾書

昭和何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉ニ於ケル投票立會人(開票立會人)(選舉立會人)タルコトヲ承諾候也

昭和何年何月何日

何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

氏 名印

府縣制施行規則 別記様式

議員候補者ノ届出書様式

議員候補者 氏 名宛

府(縣)會議員候補者届

議員候補者 氏 名

職 業 何々(官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ル可ク明細ニ記載スルコト)

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番地

生年月日 何年何月何日

選 舉 昭和何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉
右別紙供託ヲ證スベキ書面相添立候補届出候也

昭和何年何月何日

氏 名印

選舉長 氏 名宛

議員候補者ノ推薦届出書様式

府(縣)會議員候補者推薦届

議員候補者 氏 名

職 業 何々(官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ル可

府縣制施行規則 別記様式

ク明細ニ記載スルコト)

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番

地

生年月日 何年何月何日

選 舉 昭和何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉

推薦届出者 氏 名

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)何番

地

生年月日 何年何月何日

(推薦届出者) (氏 名)

(住 所) [何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何(町)

何番地]

(生年月日) (何年何月何日)

右別紙供託ヲ證スベキ書面相添推薦届出候也

昭和何年何月何日

選舉長 氏 名宛

氏 名印
(氏 名印)

議員候補者タルコトヲ辨スルコトノ届出書様式

府(縣)會議員候補者辭退届

議員候補者 氏 名

事 由 昭和何年何月何日何々ノ爲被選舉權ヲ有セザ

ルニ至リタリ

右辭退届出候也

昭和何年何月何日

議員候補者 氏 名印

選舉長 氏 名宛

備考

事由ハ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ限り記載スベシ

府縣制施行令第十六條ノ四第一項ノ規定ニ依ル證明書様式

證明書

住 所 何府(縣)何市(何郡何町(村))大字何

(町)何番地

職 業 何々(成ル可ク明細ニ記載スルコト)

選舉人 氏 名

右ハ左ノ事由ニ因リ昭和何年何月何日執行ノ府(縣)會議員選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザルベキ者ナルコトヲ證明ス

昭和何年何月何日

官職(何丸船長)(何業務主)

氏 名印

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時何丸(總噸數何噸)

ニ乗組ミ何港出帆何航路ヲ何地ヘ航海昭和何年何月何日午前(午後)何時何港歸著

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時何丸(總噸數何噸)

ニ乗組ミ何港出帆何地沖合ニ於テ何々漁業ニ從事シ

(何々ニ從事シ)昭和何年何月何日午前(午後)何時何港歸著

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時何驛發何鐵道何線

鐵道列車ニ乗務シ昭和何年何月何日午前(午後)何時何驛歸著

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時ヨリ昭和何年何月何日午前(午後)何時迄何市(何郡何町(村))(何々

府縣制施行規則 別記様式

府縣制施行規則 別記様式

投票區)ニ於テ選舉事務(投票所監視)(選舉取締)(何々)ニ從事中]

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時ヨリ昭和何年何月何日迄演習召集(教育召集)ノ爲何部隊(何々)ニ召集中]

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時何艦船ニ乗組ミ何港出帆何地ヘ航海昭和何年何月何日午前(午後)何時何港歸著

一 昭和何年何月何日午前(午後)何時ヨリ昭和何年何月何日午前(午後)何時迄何府 縣 何市(何郡何町(村))町村名明ナラザルトキハ之ヲ省略スルモ妨ナキコト)ニ於テ其ノ例トスル所ニ從ヒ何々(職務又ハ業務ヲ成ル可ク明細ニ記載スルコト)ニ從事中]

備考

職業ノ記載ニ付テハ府縣制施行令第十六條ノ二第一項第七號ニ掲グル事由ニ關スル證明書ニ在リテハ選舉人が引續キ十日以上其ノ屬スル投票區所在ノ市ノ區域又ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

ハ地方事務所長若ハ支廳長ノ管轄區域外ニ於テ職務又

府縣制施行規則 別記様式

ハ業務ニ從事スルヲ例トスル者ナルコトヲ明ナラシム

投票様式

昭和何年何月何日 何府(縣)何市(何郡何町(村))府(縣) 執 會議員(何)投票所投票録

一 投票所ハ何市役所(何町(村)役場)(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ投票立會人ハ何レモ投票所ヲ開クベキ時刻迄ニ投票所ニ參會シタリ

住所氏名

投票所ヲ開クベキ時刻ニ至リ投票立會人中參會スル者三人ニ達セザルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住所氏名

三 投票所ハ昭和何年何月何日午前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ

四 投票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セザルニ至リタルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住所氏名

五 投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先チ投票所ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ投票管理者及投票立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

六 投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シタル後(到著番號札ト引換ニ)投票用紙ヲ交付シタリ

七 選舉人ハ自ら投票ヲ認メ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲ投函シタリ

八 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登録セラルベキ確定裁決書(判決書)ヲ所持シ投票所ニ到リタルニ依リ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

住所氏名

九 左ノ選舉人ハ點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル旨ヲ申立タルヲ以テ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

十 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否シタリ

住所氏名

左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否スベキ旨決定シタルモ同選舉人ニ於テ不服ヲ申立テタルヲ以テ(投票立會人氏名ニ於テ異議アリシヲ以テ)投票用紙ト共ニ封筒ヲ交付シ假ニ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

十一 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ點字投票ヲ拒否シタリ

住所氏名

左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票

府縣制施行規則 別記様式

住所氏名

十二 左ノ選舉人ハ誤リテ投票用紙(封筒)ヲ汚損シタル旨ヲ以テ更ニ之ヲ請求シタルニ依リ其ノ相違ナキヲ認メ之ト引換ニ投票用紙(封筒)ヲ交付シタリ

住所氏名

十三 左ノ選舉人ハ投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ(喧擾ニ涉リ)(投票ニ關シ協議ヲ爲シ)(何々ヲ爲シ)投票所ノ秩序ヲ紊シタルニ依リ投票管理者ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハザルヲ以テ投票用紙(投票用紙及封筒)(到著番號札)ヲ返付セシメ之ヲ投票所外ニ退出セシメタリ

住所氏名

十四 投票管理者ハ投票所外ニ退出ヲ命ジタル左ノ選舉人

府縣制施行規則 別記様式

ニ對シ投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認メ投票ヲ爲サシメタリ

投票管理者ニ於テ投票所外ニ退出ヲ命ジタル左ノ選舉人ハ最後ニ入場シテ投票ヲ爲シタリ

十五 午前(午後)何時ニ至リ投票管理者ハ投票所ヲ閉ジベキ時刻ニ至リタル旨ヲ告ゲ投票所ノ入口ヲ鎖シタリ

十六 投票管理者ノ受ケタル府縣制第十九條ノ二ノ投票左ノ如シ

投票管理者自ラ受ケタルモノ 何 票
投票時間終了迄ニ府縣制施行令第十六條ノ七第二項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタルモノ 何 票
計 何 票

投票管理者ハ投票函閉鎖前投票立會人ノ意見ヲ聽キ前記ノ投票ノ受理如何ヲ決定シ更ニ投票用封筒ヲ開披シテ點字投票ニ付其ノ拒否ヲ決定シタリ

投票ヲ受理スベシト決定シ且點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケザル何票ハ直ニ之ヲ投函シタリ

左ノ何人ノ投票ハ受理スベカラズト決定シ又ハ點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケタルヲ以テ各其ノ投票用封筒ニ入レ假ニ封緘ヲ施シ其ノ表面ニ不受理ノ決定又ハ點字投票ノ拒否ノ決定アリタル旨ヲ記載シテ之ヲ投函シタリ

不受理ノ決定ヲ受ケタルモノ 住 所 氏 名

點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケタルモノ 住 所 氏 名

十七 午前(午後)何時投票所ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

十八 投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其ノ内蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スベキ左ノ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管ス 氏 名

十九 投票ヲ爲シタル選舉人ノ總數

何 人

内 選舉人名簿ニ登錄セラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲シタル者 何 人

内 府縣制第十九條ノ二ノ投票ヲ爲シタル者 何 人

確定裁決書(判決書)ニ依リ投票ヲ爲シタル者 何 人
投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數 何 人

内 假ニ投票ヲ爲サシメタル者 何 人

内 府縣制第十九條ノ二ノ投票中受理スベカラズト決定セラレタル投票ヲ爲シタル者 何 人

府縣制施行規則 別記様式

二十 投票函、投票録及選舉人名簿ヲ選舉長(開票管理者)ニ送致スベキ投票立會人左ノ如シ 氏 名

二十一 午前(午後)何時投票所ノ事務ヲ終了シタリ 職 氏 名

二十二 左ノ者ハ投票所ノ事務ニ從事シタリ 職 氏 名

二十三 投票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ 官職 氏 名

投票管理者ハ此ノ投票録ヲ作り投票立會人ト共ニ茲ニ署名ス 昭和何年何月何日

投票管理者 職 氏 名
投票立會人 氏 氏 氏 氏 氏 氏 名 名 名 名 名 名

府縣制施行規則 別記様式

備考

様式ニ掲ケル事項ノ外投票管理者ニ於テ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スベシ

府縣制施行令第十六條ノ八第一項ノ願末書様式

何府(縣)何市(何郡何町(村))府(縣)會議員(何)投票區府縣制施行令第十六條ノ八第一項ノ願末書

一 左ノ選舉人ハ府縣制施行令第十六條ノ二乃至第十六條ノ四ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求シタルニ依リ該當事項アリト認メ之ヲ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

交付及投票 昭和何年何月何日

事 由 何丸船内從業中(何鐵道何線鐵道列車乗務中)(何々)

證明書 官職氏名ノ證明書

住所氏名

交付及投票 昭和何年何月何日

事 由 演習召集中

證明書 召集令狀ヲ提示シ證明書ノ提出ニ代フ

住所氏名

交付及投票 昭和何年何月何日

事 由 何丸船内從業中

證明書 何々ノ事由ニ因リ證明書ヲ提出スルコト能ハザル旨ヲ疏明ス

計 何人

二 左ノ選舉人ハ點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル旨ヲ申立テタルヲ以テ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住所氏名

三 左ノ選舉人ハ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求シタルモ之ヲ拒絕シタリ

住所氏名

請求 昭和何年何月何日

事 由 何鐵道何線鐵道列車乗務中

證明書 提出セス

拒絕事由 正當ノ事由ナク證明書ヲ提出セス

住所氏名

請求 昭和何年何月何日

事 由 何々

證明書 官職氏名ノ證明書

拒絕事由 選舉人名簿ニ登録セラレズ(何々)

計 何人

四 投票管理者ニ於テ投票時間終了迄ニ送致ヲ受ケタル投票左ノ如シ

何投票管理者送致

昭和何年何月何日受

住所氏名

何投票管理者送致

昭和何年何月何日受

住所氏名

計 何票

投票管理者ハ此ノ願末書ヲ作り茲ニ署名ス

昭和何年何月何日

投票管理者

府縣制施行規則 別記様式

職氏名

備考

様式ニ掲ケル事項ノ外投票管理者ニ於テ府縣制第十九條ノ二ノ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スベシ

選舉錄様式ノ一

昭和何年何月何日 何府(縣)何郡(市)府(縣)會議員選舉會選舉錄

一 選舉會ハ何市役所(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

二 左ノ選舉立會人ハ何レモ選舉會ヲ開クベキ時刻迄ニ選舉會ニ參會シタリ

住所氏名

住所氏名

住所氏名

選舉會ヲ開クベキ時刻ニ至リ選舉立會人中參會スル者三人ニ達セザルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所氏名

府縣制施行規則 別記様式

選舉會ヲ開クベキ時刻ニ至リ選舉立會人中參會スル者三人ニ達セザルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏 名

三 届出アリタル議員候補者ノ數何人ニシテ選舉スベキ議員ノ數何人ヲ超エザル爲投票ヲ行ハザルコト昭和何年何月何日確定シタルヲ以テ昭和何年何月何日午前(午後)何時ニ選舉會ヲ開キタリ

四 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セザルニ至リタルニ依リ選舉長ハ臨時ニ選舉區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住所 氏 名

五 届出アリタル議員候補者ノ氏名左ノ如シ

氏 名 氏 名 氏 名

氏 名

六 選舉長ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ヲ決定シタリ

有リト決定シタル者

氏 名 氏 名

無シト決定シタル者

一事由何々

氏 名

七 選舉スベキ議員ノ數何人ニシテ被選舉權有リト決定シタル議員候補者ノ數何人ナリ依テ左ノ何人ヲ以テ當選者ト定ム

氏 名 氏 名

八 午前(午後)何時選舉會ノ事務ヲ終了シタリ

官 職 氏 名

九 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタリ

官 職 氏 名

十 選舉會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

官 職 氏 名

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

昭和何年何月何日

選舉長 官 職 氏 名

選舉立會人 氏 名 氏 名 氏 名

備考

様式ニ掲ケル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉會ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スベシ

開票錄様式

昭和何年何月何日 何府(縣)何郡(市)府(縣)會議員何開

票所開票錄

一 開票所ハ市役所(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ
二 左ノ開票立會人ハ何レモ開票所ヲ開クベキ時刻迄ニ開票所ニ參會シタリ

府縣制施行規則 別記様式

住所 氏 名

住所 氏 名

住所 氏 名

三 昭和何年何月何日開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ翌何日(當日)午前(午後)何時ニ開票所ヲ開キタリ

四 開票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セザルニ至リタルニ依リ開票管理者ハ臨時ニ開票區内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

五 投票管理者ヨリ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住所 氏 名

府縣制施行規則 豫算様式

備考

- 一 様式ニ掲グル事項ノ外開票管理者ニ於テ開票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スベシ
- 二 第五號中投票區別内譯、第九號中府縣制第二十五條第三項ノ區域別内譯及第十一號中何市(町)(村)(何々)別得票數ノ記載ハ表式ニ依リ且必要ニ應ジ之ヲ別表ト爲スモ妨ナシ

府縣歲入歳出豫算様式

昭和何年度何府(縣)歳入歳出豫算

歳入

經常部

- 第一款 國稅附加税金
- 第一項 地租附加税金
- 第二項 家屋稅附加税金
- 第三項 營業稅附加税金
- 第四項 續區稅附加税金
- 第二款 獨立税金
- 第一項 段別税金

- 第二款 目的税金
- 第三項 船舶税金
- 第四項 自動車税金
- 第五項 電柱税金
- 第六項 不動產取得税金
- 第七項 漁業權税金
- 第八項 狩獵者税金
- 第九項 藝妓税金
- 第三款 都市計畫税金
- 第一項 水利税金
- 第四款 地方分與税金
- 第一項 還付税金
- 第五款 分擔税金
- 第一項 分擔税金
- 第六款 財產收入金
- 第一項 不動產收入金
- 第二項 動產收入金

第七款 使用料及手数料金

- 第一款 使用料金
- 第二款 手数料金
- 第八款 國庫下渡税金
- 第一項 警察費下渡税金
- 第二項 義務教育費下渡税金
- 第九款 雜收入金
- 第一款 納付税金
- 第二款 懲罰及沒收税金
- 第三款 辨償税金
- 第四款 作業益税金
- 第五款 物品賣拂代税金
- 第六款 何々金

臨時部

- 第一款 繰越税金
- 第一項 前年度繰越税金
- 第二款 國庫補助税金

府縣制施行規則 豫算様式

- 第一款 何費補助税金
- 第二項 何費補助税金
- 第三款 寄附税金
- 第一項 何費寄附税金
- 第二項 何費寄附税金
- 第四款 財產賣拂代税金
- 第一項 不動產賣拂代税金
- 第二項 動產賣拂代税金
- 第五款 府(縣)債金
- 第一款 府縣債金
- 臨時部計金
- 歳入合計金
- 歳出

- 經常部
- 第一款 神社費金
- 第一項 神饌幣帛料金
- 第二項 供進税金
- 第二款 會議費金

府縣制施行規則 豫算樣式

- 第一項 府(縣)會議費金
- 第二項 府(縣)參事會費金
- 第三款 府(縣)職員費金
 - 第一項 俸給給料金
 - 第二項 諸給金
 - 第三項 廳費金
- 第四款 警察費金
 - 第一項 俸給及諸給金
 - 第二項 廳費金
 - 第三項 機密費金
- 第五款 警察廳舍修繕費金
 - 第一項 修繕費金
- 第六款 土木費金
 - 第一項 道路橋梁費金
 - 第二項 治水堤防費金
 - 第三項 港灣費金
 - 第四項 何費金
- 第七款 教育費金

- 第一項 何學校費金
- 第二項 學事諸費金
- 第八款 國民學校職員費金
 - 第一項 職員俸給金
 - 第二項 諸給金
- 第九款 衛生及病院費金
 - 第一項 何病院費金
 - 第二項 何費金
 - 第三項 衛生諸費金
- 第十款 勸業費金
 - 第一項 勸業會費金
 - 第二項 地方測候所費金
 - 第三項 農事試驗場費金
 - 第四項 蠶業取締所費金
 - 第五項 何費金
 - 第六項 勸業諸費金
- 第十一款 社會事業費金
 - 第一項 教育費金

- 第二項 何費金
 - 第十二款 都市計畫事業費金
 - 第一項 都市計畫地方委員會費金
 - 第十三款 史蹟名勝天然記念物保存費金
 - 第一項 史蹟名勝天然記念物保存費金
 - 第十四款 選舉費金
 - 第一項 衆議院議員選舉費金
 - 第二項 府(縣)會議員選舉費金
 - 第十五款 財產費金
 - 第一項 維持費金
 - 第二項 管理費金
 - 第十六款 府(縣)稅取投費金
 - 第一項 徵收費金
 - 第二項 金庫諸費金
 - 第十七款 豫備費金
 - 第一項 豫備費金

臨時部

府縣制施行規則 豫算樣式

- 第一款 神社費金
 - 第一項 供進金金
- 第二款 警察廳舍建築費金
 - 第一項 何警察署建築費金
 - 第二項 何建築費金
- 第三款 土木費金
 - 第一項 道路橋梁費金
 - 第二項 治水堤防費金
 - 第三項 何費金
- 第四款 市町村土木補助費金
 - 第一項 道路橋梁費補助金
 - 第二項 何費補助金
- 第五款 勸業補助費金
 - 第一項 縣農會費補助金
 - 第二項 何費補助金
- 第六款 市町村教育補助費金
 - 第一項 何學校費補助金
- 第七款 何費本年度支出額金

府縣制施行規則 豫算様式

第一項 何費本年度支出額金

第八款 府(縣)償費金

第一項 元金償還金

第二項 利子金

第三項 諸費金

臨時部計金

歳出合計金

昭和何年何月何日提出

何府(縣)知事 氏 名

備考

一 昭和十六年度分迄ハ歳入經常部第一款中第二項ヲ削リ第三項ヲ第二項、第四項ヲ第三項トシ第二款ニ左ノ一項ヲ加ヘ記載スベシ

第九項 家屋税金

二 特別會計ニ屬スル豫算ハ本様式ニ準ジ之ヲ調製スベシ

三 追加又ハ更正ノ豫算ハ本様式ニ準ジ之ヲ調製スベシ

繼續費ノ年期及支出方法様式

自昭和何年度 何府(縣)何費繼續年期及支出方法

至昭和何年度 何費中何費

内 課

昭 和 何 年 度 支 出 額

昭 和 何 年 度 支 出 額

右何々(議決ヲ要スベキ事業ノ大要ヲ記載ス)

昭和何年何月何日提出

何府(縣)知事 氏 名

附 則

本令中府縣制施行規則第一條第二條及第四條ノ規定ハ次ノ總選舉ヨリ其ノ他ノ規定ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

府縣制北海道會法等改正經過規程

(昭和十八年五月二十五日 勅令第四百四十一號)

第一條

從前ノ府縣制第八條ノ規定ニ依ル補關選舉ニ付昭和十八年六月一日前ニ其ノ告示アリタルトキハ其ノ選舉ニ關シテハ仍從前ノ府縣制第八條ノ規定ニ依ル

第二條

町村制第三十八條ノ町村ニ於テ昭和十八年十二月二十日前ニ行フ府縣會議員ノ選舉ニ用フル選舉人名簿ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第三條

府縣制第四條第二項但書ノ市ニ於テ從前府縣會議員ノ選舉ニ用ヒタル選舉人名簿及昭和十八年十二月二十日前ニ行フ府縣會議員ノ選舉ニ用フル選舉人名簿ニ關シテハ府縣制第四百三十三條及府縣制施行令第三條ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ニ依ル

第四條

從前ノ府縣制第三十二條ノ規定ニ依ル選舉ニ付昭和十八年六月一日前ニ其ノ告示アリタルトキハ其ノ選舉ニ關シテハ仍從前ノ府縣制第三十二條ノ規定ニ依ル

府縣制北海道會法等改正經過規程

第五條

財産ノ取得、管理及處分、府縣費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行又ハ財産及營造物ノ管理ニ關シ從前府縣會又ハ府縣參事會ノ議決ニ依リ定メタル規定アルトキハ其ノ規定ハ府縣制第四十一條ノ改正規定ニ依ル府縣規則ト看做ス

第六條

從前ノ府縣制第九十三條ノ規定ニ依ル府縣條例ハ之ヲ改正規定ニ依ル府縣規則ト看做ス

第七條

從前ノ府縣制及府縣制施行令ノ規定ニ依ル異議、願及訴訟ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第八條

北海道ニ於ケル町村ニ於テ昭和十八年十二月二十日前ニ行フ北海道會議員ノ選舉ニ用フル選舉人名簿ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第九條

財産ノ取得、管理及處分、北海道地方費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行又ハ財産及營造物ノ管理ニ關シ從前北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ニ依リ定メタル規定アルトキハ其ノ規定ハ北海道會法第八條ノ改正規定ニ依ル北海道規則ト看做ス

第十條

第一條、第四條及第七條ノ規定ハ北海道會法第十四條ニ於テ府縣制ノ改正規定ヲ準用スル場合ニ、第六條及第

七條ノ規定ハ北海道地方費法第八條ノ三ニ於テ府縣制ノ改正規定ヲ準用スル場合ニ、第七條ノ規定ハ北海道會法及北海道地方費法施行令第一條ニ於テ府縣制施行令ノ改正規定ヲ準用スル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

北海道會法 (明治三十四年三月二十八日)

法律 第二十二號

改正 (大正五年第二九號、一一年第五七號、一五年第七六號、昭和四年第五八號、一〇年第四七號、一五年第六五號、一八年第八二號)

第一條 北海道會ハ各選舉區ヨリ選舉スル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 北海道會議員ハ名譽職トス

第三條 議員ノ任期中新ニ前項ノ區域ノ設定アリタル場合ニ於テ從前其ノ區域ノ膠シタル選舉區ノ配當議員數前項ノ規定ニ依

テ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

第七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲ケル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第二項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第四條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)亦同シ(昭一八、一部改)

第五條 在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

2 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

北海道會法

二二三

ル關係選舉區ノ數ニ達セザルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間其ノ區域ハ仍設定セラレザルモノト看做ス(昭一八、本項追加)

4 前項ノ場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(昭一八、本項追加)

第三條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來北海道内ノ同一市町村内ニ住所ヲ有スル者ハ北海道會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 禁治産者及準禁治産者
二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者
三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受ケル者
四 一定ノ住居ヲ有セサル者
五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲ケル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行

3 租稅滯納處分中ノ者ハ被選舉權ヲ有セズ

4 北海道廳ノ官吏及北海道地方費ノ有給ノ吏員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

5 衆議院議員ハ北海道會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第六條 北海道會議員ノ選舉ハ市町村會議員選舉ニ用フル選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ(昭一八、一部改)

2 前項ノ規定ニ依リ難キ町村ニ於テ北海道會議員ノ選舉ニ用フベキ選舉人名簿ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭一八、改)

第七條 選舉長ハ北海道廳支廳長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツ

2 選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

3 選舉會ハ北海道廳支廳、市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

4 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第八條 北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ關シ左ノ事項ヲ議決ス

一 北海道條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト(昭一八、一部改)

二 歳入出豫算ヲ定ムル事

北海道會法

二二三

- 三 決算報告ニ關スル事
 - 四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、北海道地方税、分擔金及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
 - 五 財産ノ取得、管理及處分並ニ北海道地方費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行ニ關スル北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト但シ法令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ(昭一八、改)
 - 六 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
 - 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
 - 八 財産及營造物ノ管理ニ關スル北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト但シ法令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ(昭一八、改)
- 第九條 北海道參事會ハ議長及名譽職參事會員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第十條 北海道參事會ノ職務權限左ノ如シ
- 一 北海道會ノ權限ニ關スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

- 二 北海道會閉會中重要事件ヲ除クノ外北海道會ノ權限ニ關スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト(昭一八、改)
 - 三 北海道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ規定ノ準用ニ依ル除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ北海道廳長官ニ於テ北海道會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ北海道會ノ權限ニ關スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト
 - 四 北海道地方費ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項ヲ議決スル事
 - 五 其ノ他法令ニ依ル北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項
- 2 前項第二號ノ重要事件ハ北海道會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ムベシ(昭一八、改)
- 第十一條 北海道廳長官ハ北海道會及北海道參事會ノ議決ニ付スヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發ス
- 第十二條 削除
- 第十三條 削除
- 第十四條 府縣制第五條、第八條、第十三條乃至第二十二條、

- 第二十三條ノ二乃至第四十條、第四十二條乃至第六十四條、第六十六條、第六十七條、第七十條乃至第七十四條、第八十二條乃至第八十七條、第二百二十七條乃至第二百二十九條、第三百一十一條、第三百三十五條、第三百三十六條、第四百四十二條及第四百四十四條ノ規定ハ之ヲ準用ス但シ其ノ第三十一條第七項中府縣ニ對シ請負ヲ爲シトアルハ北海道廳長官若ハ北海道地方費ニ對シ請負ヲ爲シトス(昭一八、一部改)
- 第十五條 削除
- 第十六條 島嶼ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キモノハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得
- 第十七條 本法ハ北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ勅令ヲ以テ之ヲ施行スル迄之ヲ施行セス
- 附則 (昭和十年法律第四十七號)
- 1 本法中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十年勅令第七十三號ヲ以テ議員選舉ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十年七月十五日ヨリ施行)
 - 2 本法ニ依リ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ昭和十年市制中改正

- 法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ施行セザル市ニ於テハ北海道會法中選舉人名簿ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ施行シタルモノト看做ス
- 3 昭和十年市制中改正法律中公民權及選舉人名簿ニ關スル規定ハ之ヲ施行シタル市ニ於テハ北海道會法中選舉人名簿ニ關スル規定ノ適用ニ付テハ北海道會法中選舉人名簿ニ關スル規定ニ至ル迄ノ間未ダ之ヲ施行セザルモノト看做ス
 - 4 前二項ノ場合ニ於テ議員ノ選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得
 - 5 本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル町村長ノ調製スル選舉人名簿ニ關シテハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス
 - 6 昭和九年法律第四十九號、昭和十年府縣制中改正法律中議員選舉ニ關スル規定及同年町村制中改正法律中選舉人名簿ニ關スル規定ハ本法ノ適用ニ付テハ本法ノ施行ト同時ニ施行セラレタルモノト看做ス
- 附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎北海道會法及北海道地方費法施行令

(大正十五年六月二十四日)
勅令 第二百二十四號

改正 (昭和三年第二六一號、一〇年第一七七號、一八年第四百四十號)

第一條 府縣制施行令及大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令第六條ノ規定ハ北海道會法及北海道地方費法ノ施行ニ之ヲ準用ス

第二條ノ二 市制町村制施行令第七十四條第四項ニ謂フ指定町村ニ於テハ北海道會議員ノ選舉ハ町村會議員選舉ニ用フル選舉人名簿中其ノ名簿調製期日ニ於テ北海道會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ關スル部分(以下町村會議員選舉人名簿中關係部分ト稱ス)及北海道會議員補充選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ

2 町村制第十七條ノ二第二項、第十八條ノ三並ニ第十八條ノ四第三項及第四項ノ規定中衆議院議員選舉人名簿中關係部

分ニ關スル部分ハ前項ノ町村會議員選舉人名簿中關係部分ニ關シ之ヲ準用ス但シ町村制第十八條ノ三第三項中補充選舉人名簿ニ登錄シ(其ノ名簿ヲキトキハ其ノ者ニ關シ其ノ名簿ヲ作製シ)トアルハ其ノ者ニ關シ北海道會議員補充選舉人名簿ヲ作製シトス

3 市制町村制施行令第八條及第九條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル北海道會議員補充選舉人名簿ニ之ヲ準用ス

4 天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

5 市制町村制施行令第七條乃至第十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(昭一八、本條改)

第一條ノ三 削除(昭一八、削除)

第二條 北海道廳根室支廳管内國後郡、紗那郡、擇捉郡、藥取郡及色丹郡ニ於ケル北海道會議員選舉ニ關シテハ第二條ノ二乃至第十三條ノ規定ニ依ル

第二條ノ二 北海道會法第十四條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制第十九條第二項乃至第四項ノ規定及本令第一條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制施行令第十六條ノ九中投票ヲ受理スベカラズト決定シタル場合ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ

第三條 投票管理者ハ投票ノ當日又ハ翌日其ノ管理スル投票所ニ於テ北海道會法第十四條ノ規定ニ依リ準用スル府縣制第二十五條第一項及第三項並ニ第二十八條ノ例ニ依リ選舉長ニ屬スル職務ヲ行フ、此ノ場合ニ於テハ投票立會人ハ其ノ例ニ依リ選舉立會人ニ屬スル職務ヲ行フ

第四條 前條ノ規定ニ依リ投票ノ點檢ヲ行フトキハ投票管理者ハ投票所ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムベシ

2 前項ノ計算終リタルトキハ投票管理者ハ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀スベシ

第五條 投票ノ點檢終リタルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スベシ

第六條 投票管理者ハ點檢済ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スベシ

2 府縣制施行令第十六條ノ九ノ規定ノ準用ニ依リ受理スベカラズト決定シタル投票ハ投票管理者之ヲ其ノ儘他ノ封筒ニ入レ二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スベシ

第七條 投票管理者ハ前四條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル願末書ヲ作り二人以上ノ投票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票錄及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スベシ

第八條 投票管理者ハ豫メ投票所ニ於ケル開票ノ日時ヲ告示スベシ

第九條 選舉人ハ其ノ投票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第十條 天災事變等ノ爲投票所ニ於ケル開票ヲ行フコトヲ得ザルトキ又ハ更ニ之ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ更ニ期日ヲ定メ開票ヲ行フベシ、此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ報告スベシ

第十一條 選舉長ハ第五條ノ報告及府縣制第二十一條又ハ第二十二條ノ規定ノ準用ニ依リ送致セラレタル投票函ノ總テ到達シタル翌日選舉會ヲ開クベシ但シ場合ニ依リ其ノ總テ到達シタル日選舉會ヲ開クコトヲ得

2 選舉長ハ前項ノ投票函ノ投票ニ付府縣制第二十五條第一項乃至第三項及第二十八條ノ規定ノ準用ニ依ル開票ノ手續ヲ終リタルトキハ前項ノ報告ヲ調査シ同法第二十五條第三項

- ノ規定ノ準用ニ依ル區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ
- 3 第五條ノ報告遲著ノ虞アルトキハ其ノ報告總テ到達セザルモ投票函ノ總テ到達シタル翌日以後ニ於テハ選舉長選舉會ヲ開キ其ノ投票函ノ投票及前日迄ニ到達シタル報告ニ付前項ノ例ニ依リ開票ノ手續ヲ爲スコトヲ得但シ場合ニ依リ投票函ノ總テ到達シタル日ニ於テ選舉會ヲ開キ其ノ投票函ノ投票及其ノ時迄ニ到達シタル報告ニ付其ノ手續ヲ爲スコトヲ妨グズ
- 4 前項ノ規定ニ依リ開票ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ報告ノ總テ到達シタル日又ハ其ノ翌日更ニ選舉會ヲ開キ調査未済ノ報告ヲ調査シ該報告ニ付府縣制第二十五條第三項ノ規定ノ準用ニ依ル區域毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ前項ノ規定ニ依リ得票總數ニ通算シタル各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スベシ
- 第十二條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準ジ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各議員候補者ノ得票數ト併セテ其

- ノ得票總數ヲ朗讀スベシ
- 第十三條 第五條ノ報告ニ關スル書類及第七條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル願末書ハ選舉長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ
- 附則
- 1 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 2 左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス
 - 大正十二年勅令第四十六號
 - 北海道會議員選舉區分區令
 - 北海道會議員選舉特別
- 3 従前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス
- 4 大正十一年勅令第二百五十六號第二條ノ規定ニ依リ準用スル明治三十三年勅令第二百四十八號第二條ノ規定ニ依ル處分ニ關シ内務大臣ニ提起シタル訴願ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ル
- 5 従前ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ處分ニ對スル異議ノ申

- 立期間又ハ訴願ノ提起期間ハ決定又ハ處分アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス
- 6 従前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ニ爲シタル申請又ハ北海道參事會ノ決定ニ付セラレタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ北海道參事會ノ決定ニ付セラレザルモノ又ハ北海道參事會ノ決定ナキモノニ付テハ府縣制施行令第三十二條第二項ノ規定ノ準用ニ依ル期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス
- 7 本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令又ハ府縣制施行令中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同令又ハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス
- 附則 (昭和十年勅令第七十七號)
- 1 本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス
- 2 昭和九年勅令第三百二十五號及昭和十年勅令第七十四號中議員選舉ニ關スル規定ハ本令ノ適用ニ付テハ本令ノ施行ト同時ニ旅行セラレタルモノト看做ス
- 附則 (昭和十八年勅令第四百四十號)

北海道會法施行ニ關スル件

(大正十五年六月二十四日) 内務省令第二十號

- 本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 1 本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス
- 2 左ノ内務省令ハ之ヲ廢止ス
 - 大正十二年内務省令第三十二號
 - 大正十五年内務省令第二十六號
- 3 従前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス
- 4 本令施行ノ際府縣制施行規則又ハ市制町村制施行規則中議員選舉ニ關スル規定未ダ施行セラレザル場合ニ於テハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

府縣制施行規則中府縣會議員ノ選舉ニ關スル規定ハ北海道會議員ノ選舉ニ之ヲ準用ス但シ其ノ規定中従前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域トアルハ北海道廳支廳長管轄區域トス

●北海道會法ヲ北海道廳根室支廳管内色丹郡ニ施行スルノ件 (昭和十年七月三日 勅令第百七十八號)

北海道會法第十七條ノ規定ニ依リ北海道會法ヲ北海道廳根室支廳管内色丹郡ニ施行ス

附則

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

●北海道地方費法 (明治三十四年三月二十八日 法律第百三十三號)

改正 (明治四〇年第三號、大正一一年第五八號、一五年第七七號、昭和四年第五九號、一五年第六六號)

第一條 北海道地方費ハ北海道地方稅其ノ他地方費ニ屬スル收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二條 北海道地方稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ地方稅法ノ定ムル所ニ依ル

第三條 削除

第四條 削除

第五條 削除

第六條 削除

第七條 削除

第八條 法律勅令ニ規定アルモノノ外北海道地方費ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ

一 警察費

一 警察廳舎建築修繕費

一 土木費

一 衛生及病院費

一 教育費

一 救育費

一 諸達書及揭示諸費

一 勸業費

一 二級町村長書記給料旅費

一 北海道廳舎建築修繕費

一 北海道會議員選舉費

一 北海道會費

一 補助費

一 地方稅取扱費

一 豫備費

2 前項ノ外公共事務ノ爲費目ノ増加ヲ要スルトキハ北海道會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官之ヲ定ム

第八條ノ二 北海道廳長官ハ北海道地方費ノ行政ヲ擔任ス

第八條ノ三 府縣制第三條ノ二、第七十五條乃至第七十七條、第八十條、第八十一條、第八十八條乃至第一百一條、第一百

一條乃至第二百二十六條、第二百二十七條乃至第二百二十九條、第

百三十二條乃至第三百三十六條、第四百二十二條及第四百十四

條ノ規定ハ之ヲ準用ス

第九條 北海道ニ施行シタル從前ノ法律中府縣ノ負擔、收入

及國庫補助ニ關スル規定ハ之ヲ北海道地方費ニ準用ス

●北海道地方費ニ關スル件 (大正十一年五月十三日 勅令第百五十六號)

改正 (大正一五年第二一六號、昭和一五年第三五六號)

第一條 北海道地方費ノ支辨ニ屬スル警察費及警察廳舎建築

修繕費ニ對シ國庫ハ其ノ總額ノ十分ノ三半ヲ下付ス

第二條 削除

附則

北海道地方費ニ關スル件外一件

- 1 本令ハ大正十一年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 2 北海道地方費令ハ之ヲ廢止ス但シ同令第二十一條ノ規定ハ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス
- 3 明治三十九年勅令第百九十四號ハ之ヲ廢止ス

●北海道地方費法施行ニ關スル件

(昭和六年八月十一日 內務省令第二十三號)

府縣制施行規則中府縣ノ財務ニ關スル規定ハ北海道地方費ノ財務ニ之ヲ準用ス

附則

1 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

2 大正十二年內務省令第六號中「府縣ノ豫算調製ノ式並費目

流用其ノ他財務ニ關スル規定ハ之ヲ北海道地方費ニシテ

削ル

內務省訓第四三一號

廳 府 縣

今次地方制度改正ノ旨趣トスル所ハ時運ノ進展ト共ニ地方行政ノ任務愈々重大ナルニ鑑ミ國家ノ要請ニ即應シテ之ヲ根本

地方制度ノ改正ニ關スル訓令並次官通牒

的刷新ト高度ノ能率化トナ圖リ以テ地方行政ヲシテ國策ノ滲透徹底ト國民生活ノ確保定下ニ付十全ノ機能ヲ發揮セシメントスルニ在リ而シテ本改正が果シテ克ク其ノ成果ヲ舉グルヤ否ヤハ繫リテ其ノ運用ノ如何ニ存スルヲ以テ須ク本改正ノ本旨ヲ體シ指導監督其ノ宜シキヲ制シ施策運管其ノ所ヲ謬ラズ以テ地方行政ノ刷新振作ヲ期スベシ苟クモ肆ニ法ヲ行ヒ濫ニ權ヲ用ヒ因リテ民意ノ暢達ヲ阻塞スルガ如キハ本改正ノ眞精神ヲ没却スルモノニシテ嚴ニ之ヲ戒慎セザルベカラズ敍上ノ趣旨ハ關係吏僚ハ固ヨリ廣ク一般ニ之ヲ周知徹底セシメ官民眞ニ協力一致相率キテ地方自治ヲシテ國家ノ要請ニ即應シ其ノ眞髓ヲ顯現昂揚セシムルニ最善ノ努力ヲ效スベシ右訓令ス

昭和十八年六月一日

內務大臣 安藤紀三郎

內務省發地第八五號

昭和十八年六月一日

內務次官

地方制度ノ改正ニ關スル件依命通牒

標記ノ件ニ關シ本日別途訓令相成候處右趣旨ヲ體シ特ニ左記各項御留意ノ上本件實施ニ關シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度
追而貴管下各市町村ニ對シ關係事項遺漏ナク御示達ノ上之ガ周知徹底方ニ關シ適切ナル措置ヲ講セラレ度

記

甲、市制及町村制ノ改正ニ關スル事項

第一、市町村及市町村長等ニ對スル事務ノ委任ニ關スル事項
市町村及市町村長其ノ他ノ市町村吏員ニ對スル事務ノ委任ハ廣ク命令ヲ以テモ之ヲ爲シ得ルコトト爲リタルモ右ノ命令中ニハ廳府縣令ハ之ヲ包含セシメザル方針ニ付留意スルコト

第二、市町村會及市參事會ニ關スル事項

市會閉會中ニ於ケル市參事會ノ代議決ニ關シ市會ノ權限ニ留保スベキ重要事件ハ當該市ノ實情ニ應シ適當ニ之ヲ定メシムベキモノナルモ左記ノ事項ノ如キハ概ネ之ヲ市會ノ權限ニ留保セシムルヲ適當ナリト認ムルヲ以テ指導上萬遺憾

ナキヲ期スルコト

記

- 一、市ノ名稱變更又ハ市役所ノ位置ノ決定及變更並ニ市制第六條ノ市ノ區ノ名稱變更又ハ區役所ノ位置ノ決定及變更(市制第七條)
- 二、市會議員定數ノ増減ニ關スル市條例ノ設定改正及之ニ關スル議決(市制第四十二條第一號)
- 三、選舉區ニ關スル市條例ノ設定及改正(市制第四十二條第一號乃至第三項)
- 四、名譽職參事會員ノ定數增加ニ關スル條例ノ設定及改正(市制第六十五條第一項)
- 五、助役ノ定數增加ニ關スル市條例ノ設定及改正(市制第七十二條第一號)
- 六、市長ヲ名譽職ニ爲スコトニ關スル市條例ノ設定(市制第七十三條第一項但書)

地方制度ノ改正ニ關スル次官通牒

- 七、副收入役ノ設置ニ關スル市條例ノ設定及改正(市制第四十二條第一號)
- 八、行政區ノ設置及變更(市制第八十二條)
- 九、參與ニ關スル市條例ノ設定及改正(市制第八十二條第一號)
- 十、費用辨償及報酬ニ關スル市條例ノ設定及改正(市制第四十二條第一號)
- 十一、退職料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ニ關スル條例ノ設定及改正(市制第六十二條第一號)
- 十二、特別會計ヲ設ケルコト(市制第三十八條)
- 十三、決算報告ノ認定(市制第四十二條第三號)
- 十四、市稅ノ新設及増徴(市制第四十二條第四號)
- 十五、分擔金ノ新設及増徴(市制第四十二條第四號)
- 十六、夫役現品ノ賦課但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ヲ除ク(市制第四十二條第四號)

- 十七、一定額以上ノ市債ヲ起スコト（市制第三百三十二條第一項及第二項）
- 十八、財産ノ取得、管理及處分並ニ市費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行ニ關スル市規則ノ設定及改廢（市制第四十二條第五號）
- 十九、市ノ歳入歳出ニ關スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ方法ニ依ルコト（市制町村制施行規則第五十六條）
- 二十、市金庫ノ設置（市制町村制施行規則第五十七條）
- 二十一、舊慣ニ依ル財産及營造物ノ舊慣ノ變更及廢止（市制第一百十條第一項）
- 二十二、舊慣ニ依ル財産及營造物ノ使用方法ニ關スル市規則ノ設定及改廢（市制第一百一十一條）
- 二十三、市町村組合ノ設立並ニ市町村組合ノ共同事務ノ變更、市町村組合ヘノ加入、市町村組合ヨリノ脫退及之ニ伴フ財産處分、市町村組合ノ解散及之ニ伴フ財産處分

市制第四百九十九條第一項
 市制第五百零一條第一項
 市制第五百零三條第一項
 市制第五百零四條第一項
 市制第五百零五條第一項

備考

以上例示事項ノ外左記事項ノ如キハ事柄ノ性質上參事會ヲシテ代議決ヲ爲サシメ得ザルモノナルニ付爲念

- 一、市ノ廢置分合ニ關スル答申（市制第三條）
- 二、市ノ境界變更ニ關スル答申（市制第四條）
- 三、市制第六條ノ市ノ區ノ廢置分合又ハ境界變更ニ關スル答申（市制第六條第二項）
- 四、市長候補者ノ推薦（市制第七十三條第三項）
- 五、考査役ノ選任ニ關スル答申（市制第七十五條ノ二第三項）
- 六、收入役及副收入役ノ選任ニ關スル同意（市制第七十九條第二項）
- 七、通常豫算ヲ定ムルコト（市制第四十二條第二號）
- 八、區會設置ニ關スル市條例ニ關スル答申（市制第四十二條第一號）
- 九、市制第六條ノ市ノ區ノ區會設置ニ關スル市條例ニ關スル

第三、市町村長選任方法ノ改正ニ關スル事項

- 一、本改正ハ市町村長ノ地位及職責ノ重要性ニ鑑ミ官民ノ協力ニ依リ市町村長ニ眞ノ適材ヲ舉ゲンコトヲ期スルモノナルヲ以テ、之ガ趣旨ノ徹底ヲ圖ルト共ニ運用上最善ノ意ヲ致スコト
- 二、市長選任ノ手續ニ關シテハ左ノ各項ニ付特ニ留意スルコト
 - (1) 市會ヲシテ候補者ノ推薦ヲ爲サシムベキ内務大臣ノ命令ハ指定期日前原則トシテ一ヶ月ノ餘裕ヲ存シテ之ヲ發スル取扱ト致度ニ付、市長ノ死亡又ハ失職ノ場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨ヲ報告スルコト
 - (2) 市會ニ於テ推薦スベキ候補者ノ員數ニ付テハ通常一人ナルコトヲ豫想スルモ、市會ノ事情上已ムテ得ザルニ於テハ二人以上ヲ推薦スルモ差支ナク又此ノ場合ニ於テ其ノ順位ヲ附スルコトモ亦差支ナキコト
 - (3) 市會ニ於ケル候補者ノ推薦ニ付テハ之ニ關スル市會ノ議決ヲ必要トスルモ、之ガ推薦ノ爲事前ニ行フ具體的

地方制度ノ改正ニ關スル次官通牒

人選ノ方法ハ選舉ノ方法ニ依ルモ又其ノ他ノ方法ニ依ルモ差支ナキコト

- (4) 市會ノ候補者推薦書ハ之ニ(イ)候補者推薦ニ關スル市會ノ議決書寫、(ロ)市會ノ會議錄寫、(ハ)候補者調書(別紙様式ニ依ル)及(ニ)候補者ノ同意書ヲ添附セシメ貴官ヲ經由シテ之ヲ提出セシムルコト此ノ場合貴官ニ於テハ此等ノ書類ノ記載ニ付過誤又ハ脱漏ナキヤ篤ト精査ノ上之ヲ進達スルコト
- (5) 市長ノ補充選任ニ關スル規定(市制第七十三條第四項)ハ市會ノ情勢上容易ニ候補者ノ決定ヲ見ル模様ナク相當期間ニ亘リ市長ノ曠缺ヲ來スコトノ明瞭ニ看取セラレルガ如キ場合ニ於テ初メテ之ヲ發動スベキ例外的規定ニシテ、其ノ發動ニ當リテハ豫メ市會ニ對シ催告ヲ爲ス等最善ノ措置ヲ講ズルノ要アルヲ以テ、市會ガ内務大臣ノ指定スル期日迄ニ候補者ノ推薦ヲ爲サザルトキハ直ニ其ノ旨並ニ市會情勢ノ詳細ヲ報告スルコト
- 三、町村長ノ選任ニ對スル認可ノ方針ニ關シテハ町村長選任方法改正ノ本旨ニ則リ能フ限り町村内第一等ノ人材ヲ

之ニ舉グルノ趣旨ヲ以テ之ガ適切ナル運用ヲ圖ルコト
 四、市町村ト農業團體法ニ依リ設置セラレベキ市町村農業
 會トノ緊密ナル連繫ヲ確保スルハ市町村内ノ融合一致及
 市町村經營ノ一元化ヲ期スル爲極メテ緊要ナルニ鑑ミ一
 面市制町村制上參與制ノ設置等ニ依リ市町村長ニ對シ農
 業會ノ事業運営ヲ調整スベキ權能ヲ附與スルト共ニ、他
 面農業團體法上市町村農業會ノ會長ノ選任ニ付豫メ地方
 長官ガ市町村長ノ意見ヲ徵スベキモノトセラレタリ此等
 趣旨ノ存スル所ニ鑑ミ市町村農業會ノ會長ノ選任ニ付テ
 ハ諸般ノ條件ヨリ見テ市町村長ガ市町村農業會ノ會長タ
 ルニ適當ナルモノナル限り之ヲシテ市町村農業會ノ會長
 タラシムル方針ノ下ニ運用上最善ノ意ヲ致スコト尙市町
 村農業會ノ會長ヲ命ズルニ付テハ地方長官ハ道府縣農業
 會ノ會長ノ意見ヲモ徵スル取扱ト爲スコト

第四、市町村長ノ解職ニ關スル事項

市町村長解職ノ手續ニ關シテハ事ノ性質ニ鑑ミ取扱上最
 慎重ヲ期シ特ニ左ノ各項ニ付留意スルコト
 (1) 解職ハ眞ニ已ムヲ得ザル場合ニ限ルモノトシ、其ノ事由

ハ(イ)市町村長ガ犯罪ニ因リ刑ニ處セラレ市町村民ノ信
 望ヲ失フニ至リタルトキ(ロ)市町村長ガ就任ノ後ニ於テ
 久シキニ渉ル疾病等ノ爲職責ニ堪ヘ得ザルニ至リタルト
 キ(ハ)市町村長ト市町村會トノ間著シク圓滿ヲ缺キ而モ
 市町村長ヲ退職セシムルヲ相當トスルトキ(ニ)其ノ他右
 ニ準ズルガ如キ著シク在職ヲ不適當トスル事由アルトキ
 ニ限ルコト
 (2) 町村長ノ解職ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ事由ヲ具シ
 當省ニ稟議スルコト

第五、市町村内各種施策ノ綜合的運營ニ關スル事項

一、町村ノ參與ニ關シテハ、町村内各種施策ノ綜合的運營
 ナル爲其ノ基軸トシテ之ガ最善ノ活用ヲ圖リ、特ニ本
 制度ノ運用ニ關シテハ左ノ各項ニ付留意スルコト
 (1) 町村ノ參與ハ法律上必置ノ機關ナルヲ以テ、管下全町
 村ニ亘リ速ニ之ガ設置ヲ爲サシムルコト
 (2) 參與ノ員數ニ付テハ特別ノ事情アル場合ハ格別通常之
 ナ五人乃至八人程度トスルコト
 (3) 參與ノ構成ニ付テハ町村ノ實情ニ應ジ概ネ(イ)町村會

議員、(ロ)産業經濟團體ノ代表者、(ハ)其ノ他ノ各種
 團體ノ代表者及(ニ)其ノ他學識經驗アル者(國民學校
 長、篤農家、自治功勞者等)ノ中ヨリ眞ニ適材ヲ選ン
 テ之ニ充ツルコト

(4) 參與制ノ運用ニ付テハ各種團體等ノ活動ニ俟ツベキ町
 村綜合計畫、町村内各種團體等ノ重要計畫ニシテ全體
 的考慮調整ヲ要スルモノ等凡ソ町村内各種施策ニ關ス
 ル重要事項ハ之ヲ參與ノ審議ニ附シ以テ町村内各種團
 體等ヲシテ眞ニ協力一致各其ノ職分ニ從ヒ十全ノ機能
 ヲ發揮セシムルヤウ本制度ノ活用ニ遺憾ナキヲ期スル
 コト

(5) 參與制ト町村常會トノ關係ニ付テハ兩者ヲ緊密ニ連繫
 セシメ參與ヲシテ町村常會ノ幹部會タルノ機能ヲ營マ
 シムル如ク運營シ參與ニ諮リテ決定セル事項ハ町村常
 會ヲ通シ通ク町村住民ニ徹底セシメル等適切ナル方途
 ヲ講セシムルコト

(6) 參與制ト各種委員會トノ運用ノ調整ニ付テモ特別ノ意
 ヲ致シ、殊ニ農林省企畫ニ係ル皇國農村確立ノ爲ニス

地方制度ノ改正ニ關スル次官通牒

ル標準農村建設計畫ノ樹立ニ關シテハ、當該町村經濟
 更生委員會トノ間緊密ナル連繫ヲ圖リ、同委員會建設
 計畫部ニ於テ立案シタル計畫案ニ付テハ町村長之ヲ徵
 シテ參與ニ諮問シ、參與ニ於テ審議シタル上同委員會
 ニ於テ之ヲ決定スルノ手續ヲ探ラシムルモノトスルコ
 ト
 二、市ノ參與ハ市ノ實情ニ依リ必要アル場合ニ於テ之ヲ設
 置セシムルコトトシ其ノ運營ニ關シテハ實情町村ニ準ズ
 ル場合ニ於テハ之ニ準セシムベキモ大都市等ニ於テハ寧
 ロ之ヲ市長ノ最高顧問トシテ活用スルモノトシ從ツテ其
 ノ員數モ成ルベク少數ニ止メ且其ノ人選ニ付特ニ留意セ
 シムルコト
 三、市町村長ノ團體等ニ對スル指示權ニ付テハ、市町村内
 各種施策ノ綜合的運營ヲ確保スルノ緊要性及改正法ノ下
 ニ於テ之ニ對スル市町村長ノ職責ノ極メテ重大ナル趣旨
 ヲ徹底セシムルト共ニ本制度ノ爲市町村長ガ團體等ノ連
 絡調整ニ對スル努力ヲ等閑ニシ徒ニ之ニ依頼シテ却ツテ
 市町村内摩擦相剋ノ因ヲ醸成スルガ如キコトナキヤウ留

憲セシムルコト
尙市町村長ニ於テ指示權ヲ發動シタル場合ニ於テ其ノ指示ニ從ハザルトキハ市町村長自ラ之ヲ強制スル權能ナク當該團體等ノ監督官廳(通例地方長官)ノ措置ヲ申請シ得ルモノナルモ斯ノ如キ申請アリタルトキハ監督官廳ハ夫々ノ法規ニ基キ團體等ニ對シテ有スル監督權ニ基キ適切ナル措置ヲ講ズルコト

第六、市町村ノ吏僚組織等ノ整備充實ニ關スル事項

- 一、助役、收入役、副收入役、區長等ノ選任方法ノ改正ニ依リ市町村長ノ吏僚組織ニ對スル統卒ノ責任ハ著シク重化セルヲ以テ克ク之ガ認識ヲ徹底セシメ、其ノ責任ヲ盡スニ遺憾ナカラシムルコト
- 二、考査役ノ制度ニ關シテハ之ガ設置ノ趣旨ニ則リ所期ノ成果ヲ擧ゲシムルヤウ其ノ人選並ニ制度ノ運営ニ付格段ノ注意ヲ拂ハシムルコト
- 三、助役、考査役、收入役及副收入役ノ解職ニ關シテハ市町村長ノ解職ニ準ジ特ニ之ガ取扱ノ慎重ヲ期スルコト
- 四、出納員ノ制度ニ關シテハ之ガ設置及其ノ所掌事務ノ範

第七、町内會部落會及其ノ聯合會ニ關スル事項

- 一、町内會部落會等ノ財產及經費ノ管理ニ關スル市町村長ノ措置ニ付テハ
 - (1) 此等會計事務ノ取扱ニ關シ當該事務職員等ニ對シ市町村長ニ於テ適切ナル指導ヲ與フルコト
 - (2) 會計ノ適正ヲ期スル爲市町村長ニ於テ必要ナル報告ヲ徵シ特ニ必要アリト認ムルトキハ實地ニ就キ其ノ情況ヲ調査シ過誤アルトキハ之ガ是正改善ヲ命ズルコト此ノ場合努メテ懇切ヲ盡シ權柄ニ涉ラザルヤウ特ニ留意

セシムルコト

- (3) 經費ノ調達使用ニ付テハ努メテ之ガ節省ヲ圖ラシメ溢リニ會費ノ増徴等ヲ爲サザルヤウ市町村長ニ於テ適切ナル指導監督ヲ加フルコト
- 二、町内會部落會等ノ區域ノ變更ニ關スル市町村長ノ措置ニ付テハ區域ノ過大過少ナル等區域ノ著シク不適當ナル場合ニ於テ之ガ是正ニ關シ市町村長ニ於テ必要ナル指導ヲ加ヘ事情已ムヲ得ザル場合ニ於テ市町村長ニ於テ之ガ變更ヲ命ズルモノトシ此ノ場合町内會部落會等ノ意向ニ付テハ充分ナル考慮ヲ拂ヒ溢リニ一方的強制ニ涉ルガ如キコトナキヤウ留意セシムルコト
- 三、町内會部落會等ノ自己ノ名ヲ以テスル財產ノ所有ニ付テハ町内會部落會等ノ活動ニ伴フ財產ニ付其ノ管理ノ適正ヲ期スル方途トシテ本制度ノ活用ヲ認メ特ニ本制度ノ結果町内會部落會等ガ溢リニ財產ヲ所有セントスル弊風ヲ馴致セシメザルヤウ留意スルコト

地方制度ノ改正ニ關スル次官通牒

- 其ノ旨ヲ告示スルノ取扱ト爲スコト
 - 四、町内會部落會等ノ長ヲシテ市町村長ノ事務ノ一部ヲ授助セシメ得ル規定ニ付テハ之ガ爲溢リニ市町村ノ事務ヲ町内會部落會等ニ轉嫁シ其ノ負擔ヲ過重ナラシムルガ如キコトナキヤウ特ニ留意セシムルト共ニ町内會部落會等ノ長ヲシテ市町村長ノ單純ナル下級補助者トシテ遇スルガ如キ弊ニ陥ラザルヤウ戒シムルコト
 - 五、町内會部落會等ノ區域内ニ於ケル各般ノ施策活動ハ支障ナキ限り之ヲ町内會部落會等ニ統合シ成ルベク末端組織ノ簡素化ヲ圖ルヤウ指導上意ヲ致スコト
 - 六、町内會部落會等ノ整備狀況ニ應ジ存置ノ要ナキニ至レル行政區ハ之ヲ廢止セシムルコト
- 第八、事務ノ簡素化ニ關スル事項
- 一、異議ノ決定及訴訟ノ裁決ノ手續ノ改正ニ關シテハ今次改正ノ本旨ニ則リ其ノ敏捷ナル處理ヲ期スルト共ニ其ノ責任ノ重大ナルニ顧ミ苟クモ公正ヲ失シ獨善專橫等ノ譏ヲ招クガ如キコトナキヤウ特ニ留意スルコト
 - 二、使用料ノ新設及變更、繼續費ノ設定及變更其ノ他監督

地方制度ノ改正ニ關スル次官通牒 市長候補者調書様式

官廳ノ許可ヲ要セザルコトト爲シタル事項ニ付テハ之ガ爲市町村財政等ニ惡影響ヲ及ボスガ如キコトナカラシムルヤウ一般監督權ノ運用上充分ノ意ヲ致スコト
 三、市町村債ニ關スル許可ノ權限ヲ地方長官ニ移讓シタルモノニ付テハ市町村債ニ關スル一般方針ニ則リ之ガ處理上萬遺憾ナキヲ期スルコト
 第九、北海道ニ於ケル町村及樺太ニ於ケル市町村ニ關スル事項

北海道ニ於ケル町村及樺太ニ於ケル市町村ニ付テハ市制町村制ヲ施行スルコトト爲リタルモノ之ガ運用ニ於テハ克ク其ノ實情ニ應セシムルヤウ指導監督上留意スルコト
 乙、府縣制及北海道會法ノ改正ニ關スル事項
 府縣制及北海道會法ノ改正ハ其ノ内容ニ於テ概ネ市制町村制ノ改正ニ照應スルモノナルヲ以テ前各項ニ準ジ之ガ運用ノ適正ヲ期スルコト

市長候補者調書

氏名	生年月日	本籍	住所

職位	職業	資望	賞罰
階等			
公民權ノ有無	市制及第七十五條第七項第七類ノ有無		
住所期間			

經歷

年 年	月 月	日 日

市長候補者調書様式

備考	年	年	年	年	年	年
	月	月	月	月	月	月
考	日	日	日	日	日	日

備考
職業經歷等ノ記載ニシテ市制第七十七條又ハ第七十八條ニ該當スルモノアルトキハ之ニ關スル措置方法等ヲ備考欄ニ記載スルコト

●地方税法施行令中改正勅令

(昭和十八年五月廿五日
勅令第四百五十號)

地方税法施行令中左ノ通改正ス

第一條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

本令中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府縣知事又ハ府縣稅トアルハ夫々北海道廳長官又ハ北海道地方稅トス
本令中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市町村ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事トアルハ北海道廳長官トス

附則

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●地方税法施行規則中改正省令

(昭和十八年五月二十五日
內務大臣省令第二號)

第一條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方税法改正ニ關スル勅令及省令

本令中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ府縣稅又ハ府縣知事トアルハ夫々北海道地方稅又ハ北海道廳長官トス
本令中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市町村ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事トアルハ北海道廳長官トス

附則

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年九月二十八日印
昭和十八年九月三十一日發

刷行

地方制度法令集 第二輯
定價 壹圓三拾錢
特別行爲稅 八錢
相當額 八錢
賣價 壹圓三拾八錢

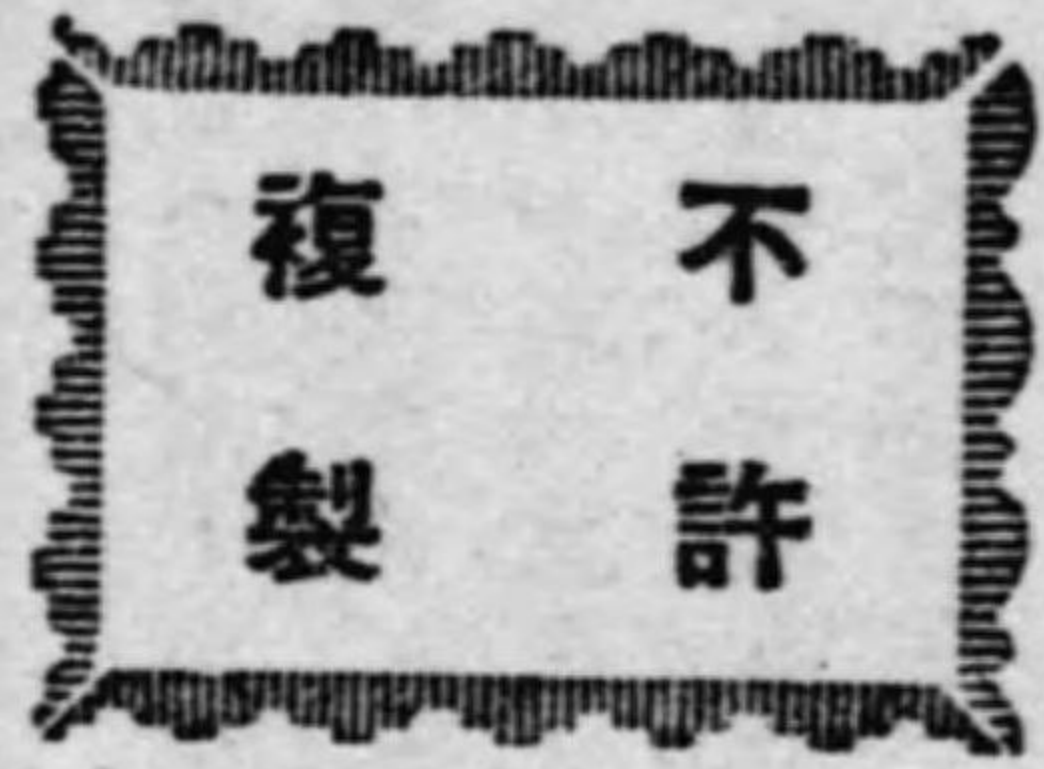
著者 自治館編輯局

發行者 東京都神田區神保町三丁目八番地 金田東江

印刷者 東京都麹町區飯田町一丁目五番地 須藤西壽

配給元 東京都神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

出文承認い、150584號。
發行部數 1000部



發行所

東京都神田區神保町三丁目

（撥替東京二八六七）
電話九段三五〇五

法律書出版

自治館

會員番號 一一二二一〇番

9M-32

每月五日發行

自治機關

- 一冊金參拾錢
- 半年金壹圓八拾錢
- 一年金參圓六拾錢
- 送料金壹錢

本誌ノ誕生セシハ約四十五年ノ昔、自治制布カレテ未ダ數年ナラザルノ秋、嗚々ノ聲ヲ擧ゲタルモノナリ。爾來時代ハ幾變遷、洵ニ感慨無量ノモノアリト雖モ、本誌ハ此間幾萬ノ讀者ヲ保有シ、終始一貫其ノ使命タル自治進展ノ爲ニ精進努力ヲ重ネタルコトヲ自信スルモノナリ。今ヤ時代ハ急轉廻ヲ爲シタリ、我國ハ全亞細亞諸民族ノ解放、大東亞新秩序建設ノ爲ニ國家ノ總力ヲ擧ゲテ、惡逆非道ノ國米英ト、文字通り喰フカ喰ハレルカノ大戰爭ヲ開始シ、前線ニ於テハ熾烈ナル決戦ニ次グニ決戦ガ闘ハレ、銃後一億ノ國民モ亦其ノ全能力ヲ擧ゲテ、生産増強ニ戰時生活確保ニ邁進シツツアリ。是ノ秋ニ當リ市町村ノ任務ハ一段ト其ノ重要性ヲ加ヘタルヲ政府ハ昭和十八年度ニ於テ東京都制ヲ實施シ、更ニ市町村制ニ對シテモ一大改正ヲ爲シ既ニ實施ニ入りタリ、是ニ於テ本誌ノ使命ハ益々重キヲ加ヘタリト謂フモ過言ニ非ズ。本誌ハ毅然トシテ本來ノ方針ニ則リ、時流ニ便乘セズ、以テ市町村ノ重要任務達成ニ幾分ノ寄與センコトヲ冀フモノナリ。乞フ同感諸君ノ愛讀ノ榮ヲ給ハランコトヲ

◎讀者ノ特典 本誌讀者ハ法律上ノ質疑ニ對シ解答ヲ求ムルノ特權アリ。

